

SearchManager Pro

取扱説明書

アンドール株式会社®

もくじ

もくじ.....	1
はじめに.....	3
インストールの手順.....	4
環境構築の手順.....	12
ライセンスの認証方法.....	18
CADSUPER 保守契約ユーザー	19
アクティベーション	20
ユーザーインターフェイス	38
SOLIDWORKS ファイル対応	45
SOLIDWORKS ファイルの参照関係の維持.....	45
CADSUPER 図面ファイル対応と参照関係の維持	47
ファイル検索	48
新しいフォルダーの作成.....	51
検索フォルダー・作業フォルダー.....	51
上へ	52
開く.....	52
直接編集.....	52
最新を取得 / 最新を取得して表示.....	53
チェックアウト / チェックアウト編集.....	54
チェックアウトの取り消し	55
切り取り.....	56
コピー.....	56

貼り付け	57
名前の変更	58
削除	58
プロパティ	59
表示タイプ	59
ファイルリストの更新	60
サムネイルキャッシュのクリア	60
リストビュー設定のクリア	61
ユーザー設定	62
チェックイン	64
インデックスのオプション	65
システムの設定	67
SOLIDWORKS 参照関係の再取得	72
ヘルプ	72
ライセンス	72
バージョン情報	72

はじめに

この度は、**SearchManager Pro** およびアンドール社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

SearchManager Pro は、Windows 7 以降の OS に標準搭載されている全文検索機能「Windows サーチ」を活用し、『検索条件の保存と再利用』『自動ツリー展開』などの独自の機能を追加し、誰でも簡単に導入・利用可能な全文検索クライアントソフトです

また、グループでサーバーデータを共有している場合の排他制御とローカルフォルダーを有効活用し、複数ユーザーの同時編集によるファイルの競合を防ぐ為に、チェックイン・チェックアウト機能を搭載しています。

この取扱説明書は、**SearchManager Pro** の機能並びに操作方法を説明しておりますので、他の取扱説明書やオンラインヘルプと併せてご活用ください。

■ 動作環境

SearchManager Pro をインストールするために、下記の要件に合った動作環境をご用意ください。

項目	スペック
CPU	Intel Pentium4 2.0GHz 以上
メモリ	1GB 以上 (推奨: 2GB 以上)
ハードディスク	1GB 以上
OS	Windows Vista, 7, 8, 8.1, 10 Windows Server 2008, 2008R2, 2012, 2012 R2
実行環境	Microsoft .NET Framework 4 Windows サーチ 各ファイル形式の IFilter



ワンポイント

「Windows サーチ」「各ファイル形式の IFilter」については、別紙の補足資料をご参照ください。

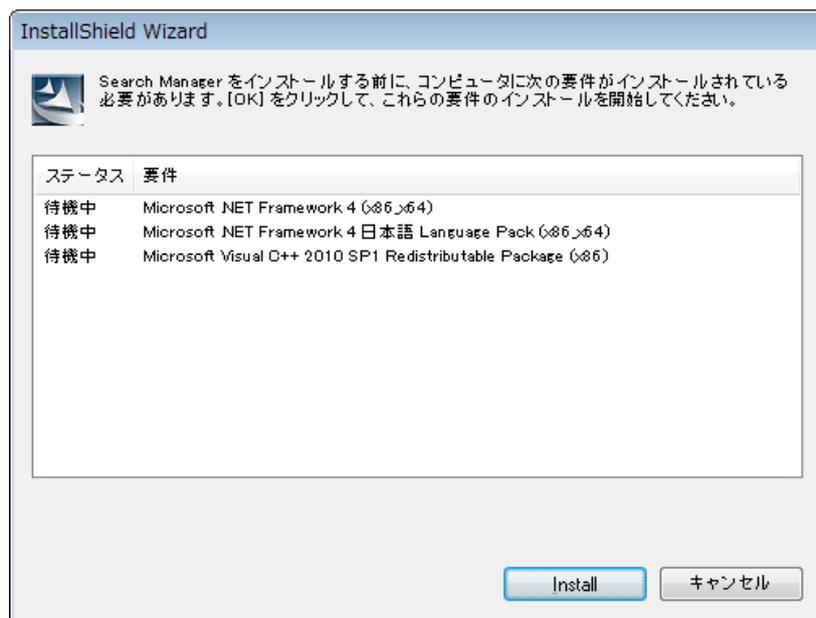
インストールの手順

SearchManager Pro をお客様の環境にインストールする方法について説明します。
インストールを行うには、管理者権限を持つユーザーで Windows にログインしてください。

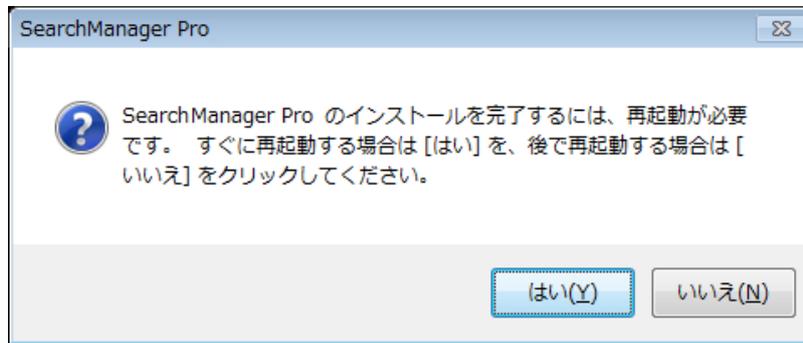
- ① **SearchManager Pro** のセットアップを起動すると、下記のインストールガイドが起動します。
[SearchManager Pro インストール] のボタンをクリックしてください。クリックすると、**SearchManager Pro** のセットアップが起動します。



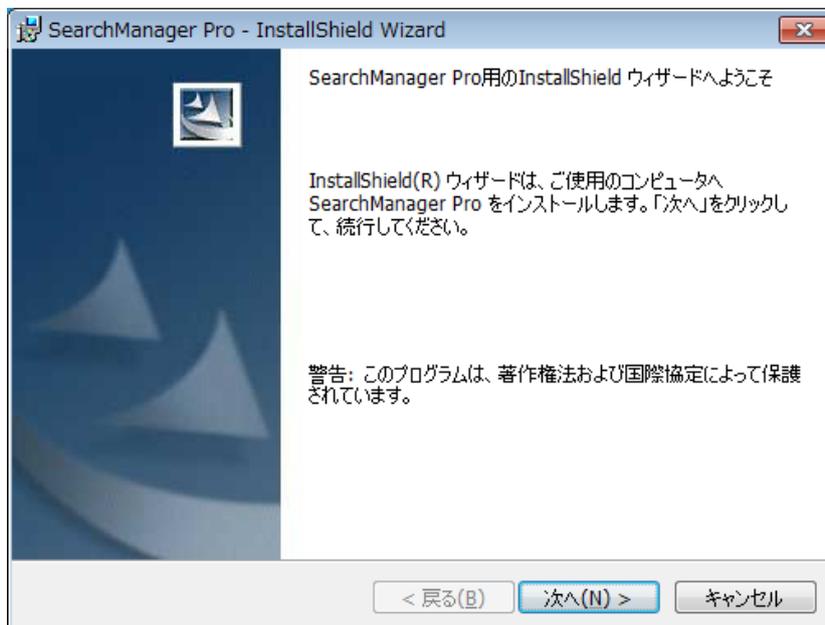
- ② Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていない場合は、下記の画面が表示されます。「Install」ボタンを押します。



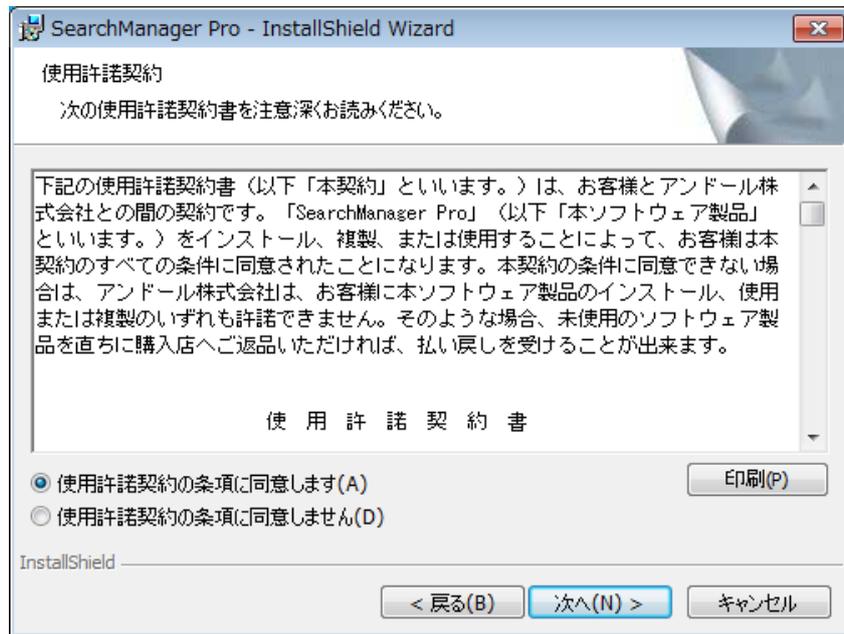
- ③ Microsoft .NET Framework 4 のインストールを完了するために、Windows を再起動する必要がある場合があります。「はい」ボタンを押して、Windows を再起動すると、**SearchManager Pro** のセットアップが自動的に起動します。



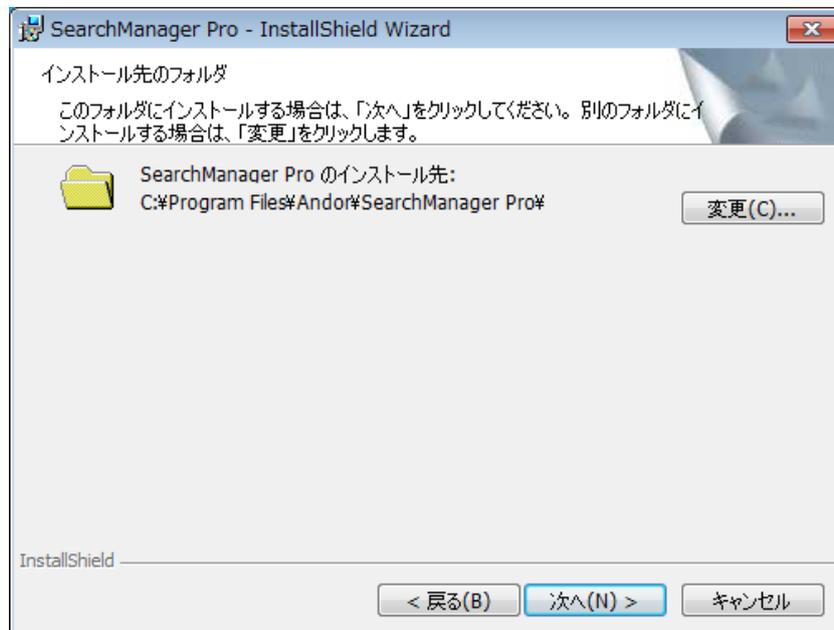
- ④ 「次へ」ボタンを押します。



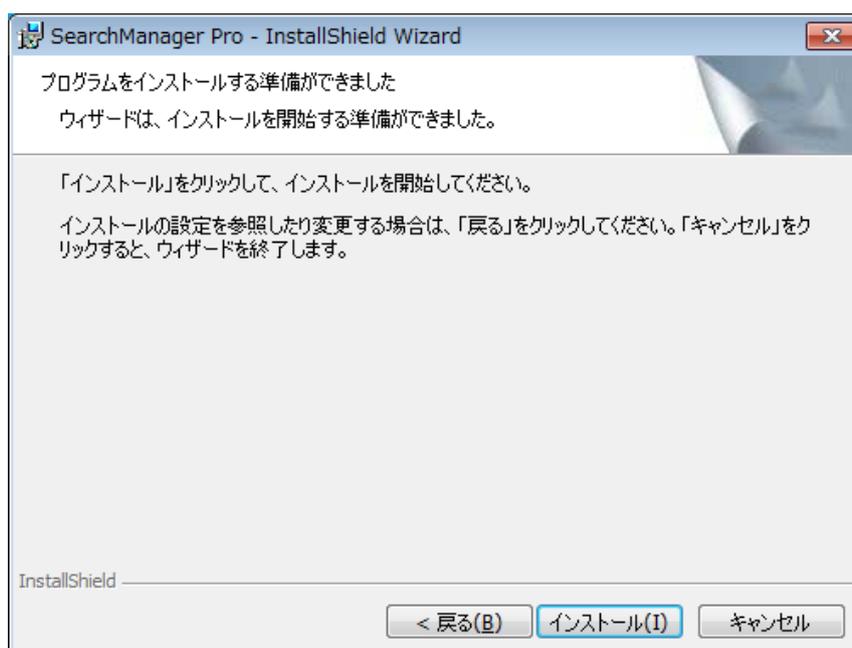
- ⑤ 使用許諾契約書をお読みいただき「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンを押します。



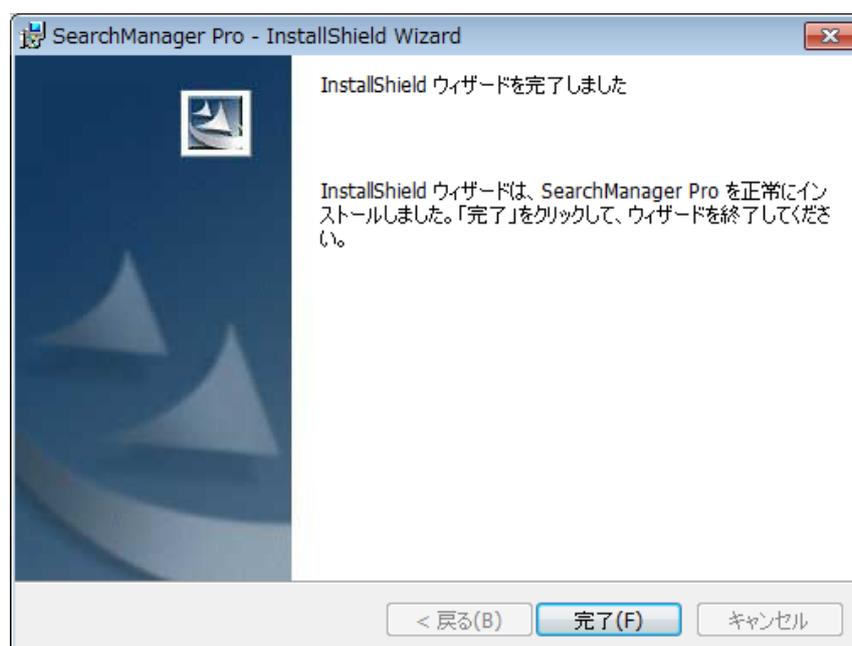
- ⑥ インストール先フォルダーを指定できます。変更する場合は「変更」をクリックしてインストールするフォルダーを選択してください。「次へ」ボタンを押します。



- ⑦ 「インストール」ボタンを押すと、インストールが開始されます。



- ⑧ 「完了」ボタンを押して、セットアップを完了します。

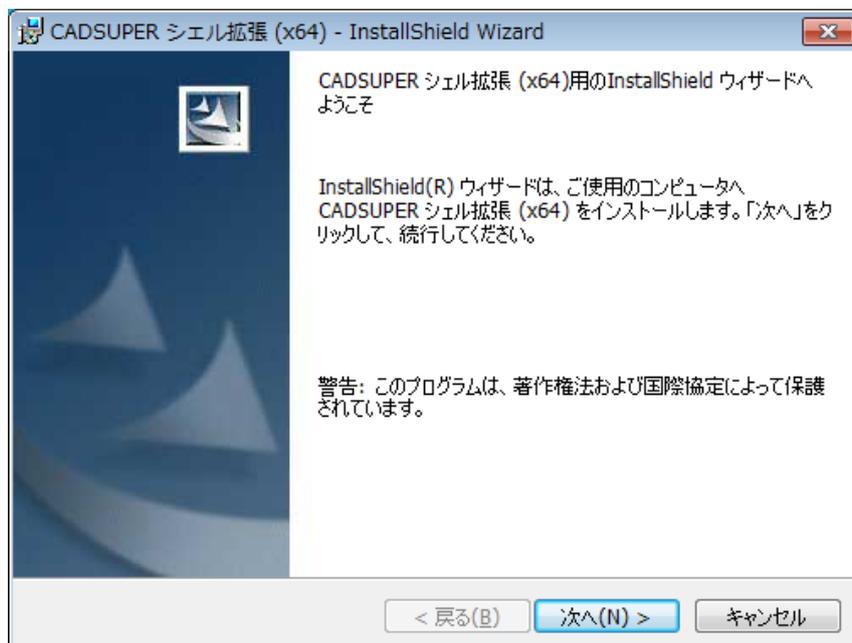


次に CSDUPER シェル拡張のインストールを実行します。CADSUPER シェル拡張は、CADSUPER 図面や DWG/DXF 形式の図面を検索する際に必要です。後述の Windows サーチのインデックス作成前にインストールする必要があります。

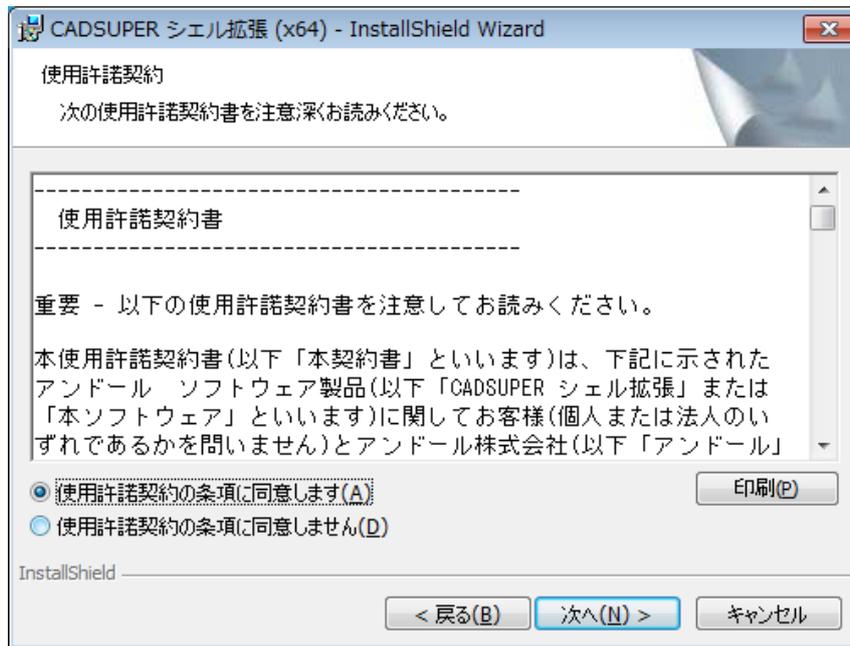
- ① [CADSUPER シェル拡張]ボタンを選択します。



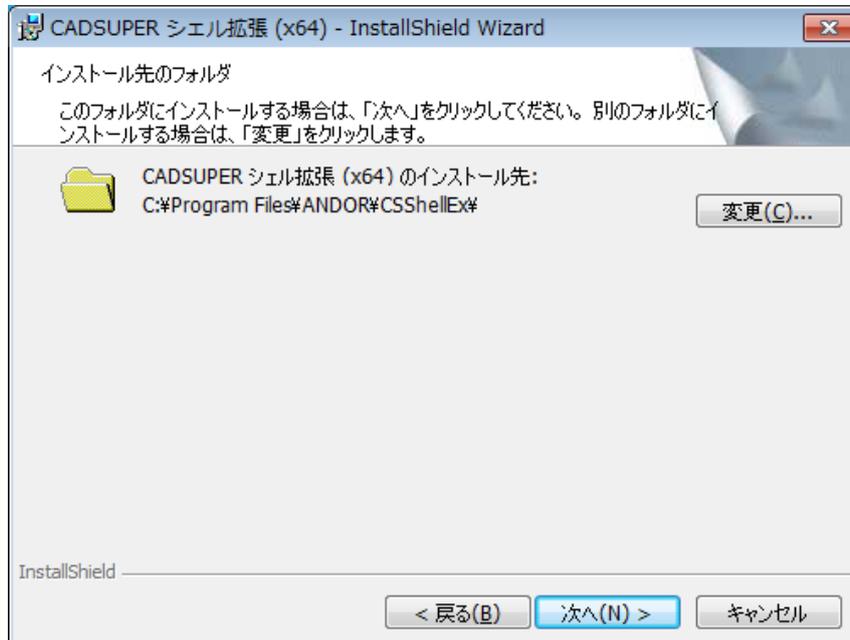
- ② インストーラーが起動します。[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



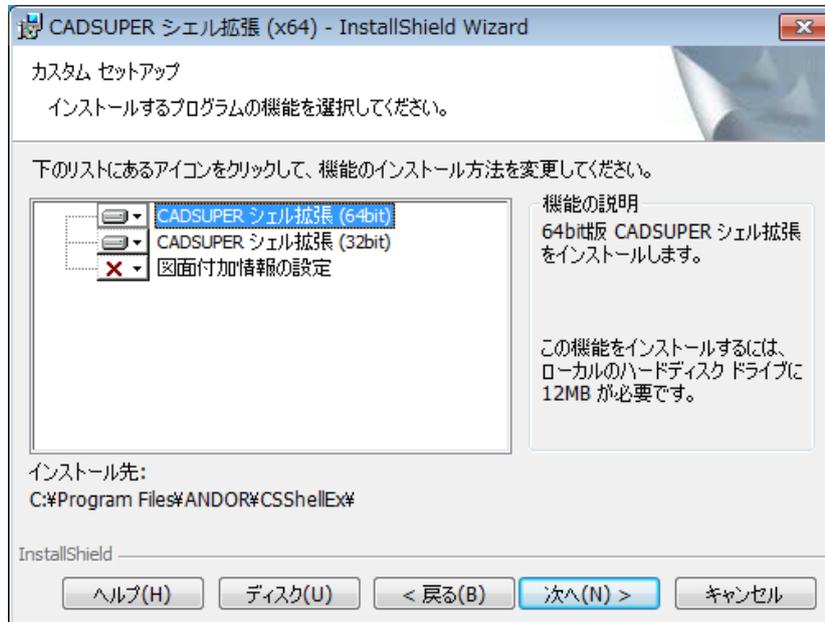
- ③ 使用許諾契約書をお読みいただき「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンを押します。



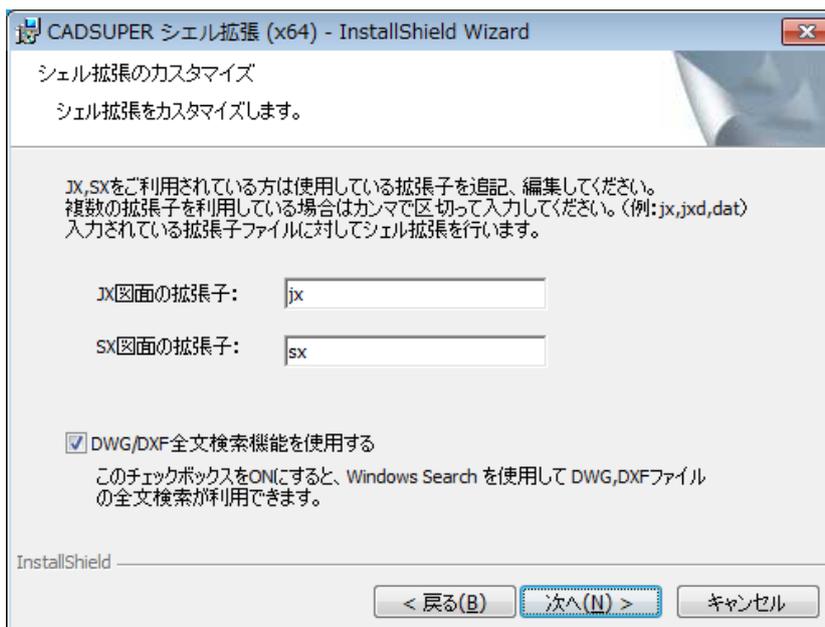
- ④ インストール先フォルダーを指定できます。変更する場合は「変更」をクリックしてインストールするフォルダーを選択してください。「次へ」ボタンを押します。



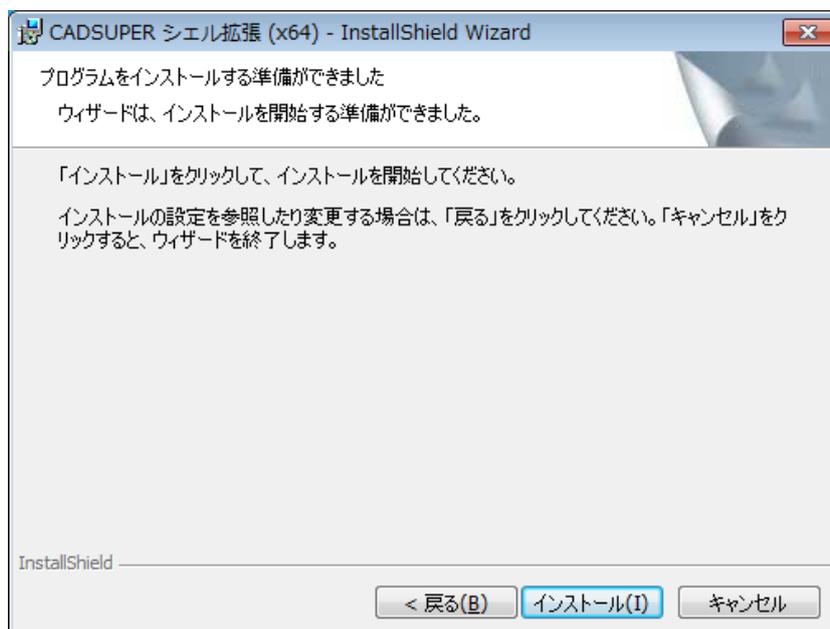
- ⑤ インストールする機能を選択します。「図面付加情報の設定」は、CADSUPER アプリケーションの「システムローカル設定」に搭載されています。CADSUPER をインストールしない場合（ファイルサーバーへのインストール等）は、「図面付加情報の設定」を ON にして、インストールします。「次へ」をクリックします。



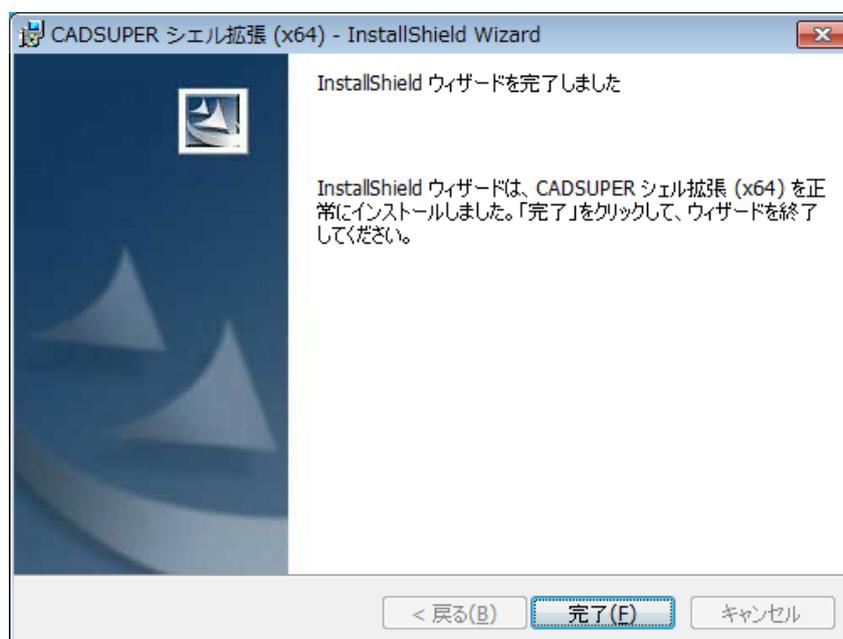
- ⑥ JX・SX 図面をご利用されているお客様で拡張子を「JX」・「SX」とは異なる拡張子を使用している場合は、ご使用の拡張子をカンマ区切りで入力してください。JX・SX 図面をご利用されていないお客様は変更する必要はありません。CADSUPER シェル機能で、DWG/DXF 形式の図面ファイルに対しての全文検索機能を利用する場合は、「DWG/DXF 全文検索機能を利用する」にチェックを付けてください。「次へ」をクリックします。



- ⑦ 「インストール」をクリックするとプログラムファイルのコピー処理が開始されます。



- ⑧ 「完了」をクリックして、セットアップを終了します。



環境構築の手順

SearchManager Pro は、Windows 7 以降の OS に標準搭載されている全文検索機能「Windows サーチ」を使用してファイル検索を行うため、SearchManager Pro と Windows サーチの両方の設定を行う必要があります。

SearchManager Pro を使用する前に下記の手順に従って、SearchManager Pro と Windows サーチの設定を行なってください。

1 Windows サーチの設定

1.1 IFilter のインストール

下記のファイル形式のインデックスを作成するためには、対応する IFilter をインストールしておく必要があります。

各種 IFilter の入手方法については、別紙の補足資料をご参照ください。

ファイル形式	拡張子	インストールする製品
CADSUPER 図面	CSD, CSP	CADSUPER シェル拡張 (32bit 版 / 64bit 版)
FX 図面	FXD, FXS	
JX 図面	任意	
SX 図面	任意	
EASYDRAW 図面	ED	
DWG/DXF 形式の図面	DWG,DXF	
SOLIDWORKS アセンブリ	SLDASM	SOLIDWORKS、 CADSUPER Works、 SOLIDWORKS Explorer (32bit 版 / 64bit 版)
SOLIDWORKS 部品	SLDPRT	
SOLIDWORKS 図面	SLDDRW	
Adobe PDF	PDF	Adobe Reader、 Adobe PDF IFilter (32bit 版 / 64bit 版)
Word 文書	DOC, DOCX	Microsoft Office、または、 Microsoft Office 2010 フィルター パック (32bit 版 / 64bit 版)
Excel 文書	XLS, XLSX	
PowerPoint 文書	PPT, PPTX	
Visio 図面	VSD, VSDX	

これらの IFilter はインデックス作成時にファイルからテキスト情報を抽出するために利用されますので、IFilter はインデックスを作成する PC 環境にインストールします。

(例：ファイルサーバー上の共有ファイルのインデックスを作成する場合は、ファイルサーバーに IFilter をインストールします。)



ワンポイント

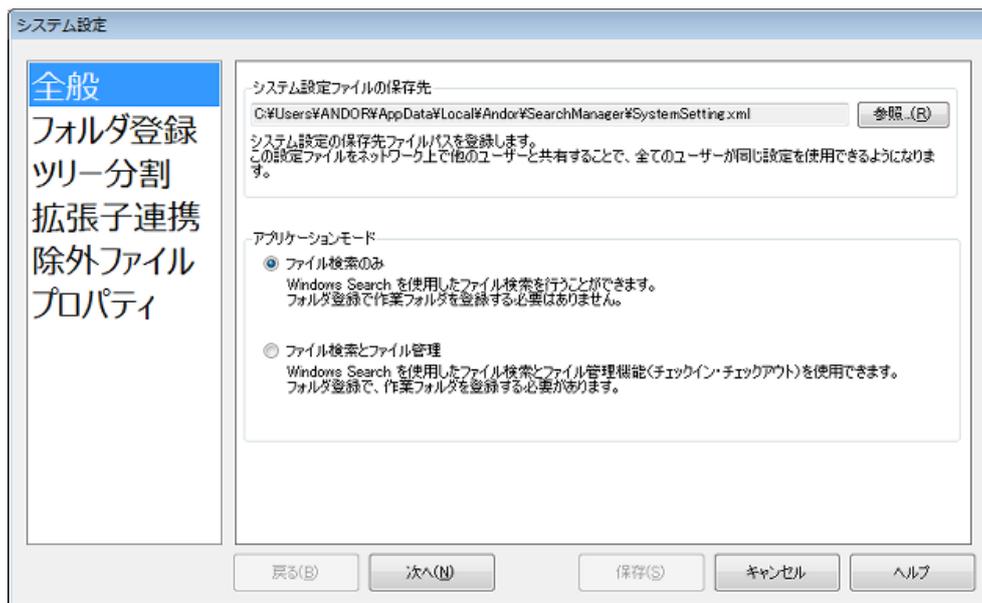
新しい IFilter をインストールした場合は、[コントロールパネル]-[インデックスのオプション]にて、インデックスの再構築を行う必要があります。

2 SearchManager Pro の初期設

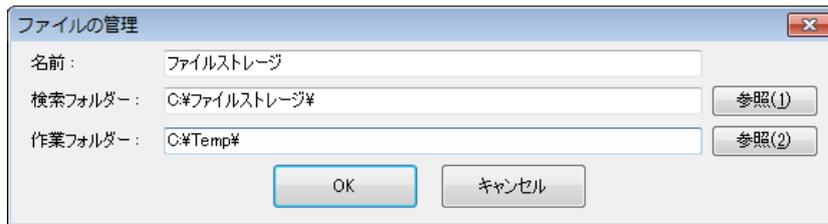
2.1 初期設定

SearchManager Pro では、検索対象のフォルダーを Windows サーチ機能に登録して、インデックスを作成する必要があります。以下の手順では、初回起動時の検索対象フォルダーの登録とインデックスの作成について表示しています。

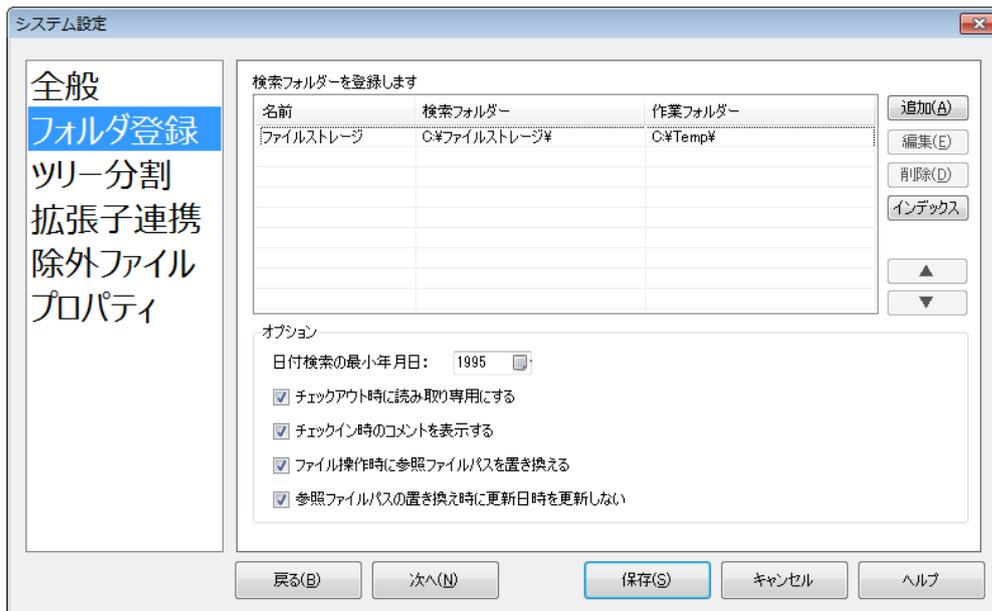
- ① システム設定ダイアログを表示します。
初回起動時などシステム設定ファイルが存在しない場合、起動時に表示されます。または、[オプション]-[システム設定]をクリックして表示します。



- ② [全般]-[システム設定ファイルの保存先]の参照ボタンをクリックして、システム設定の保存先を指定します。
- ③ [アプリケーションモード]を選択します。ファイル検索機能のみ使用する場合は、「ファイル検索のみ」を選択します。ファイル管理機能(チェックイン・チェックアウト)を使用する場合は、「ファイル検索とファイル管理」を選択します。
- ④ 「次へ」を選択します。
- ⑤ [フォルダ登録]タブが表示されます。ここでは **SearchManager Pro** の検索フォルダーと作業フォルダーを登録します。アプリケーションモードをファイル検索のみに設定した場合、作業フォルダーの登録は不要です。検索フォルダーとは、検索対象のフォルダーやドライブのことを示します。作業フォルダーは、[最新を取得]などのファイル管理コマンドを使用して検索フォルダーからコピーしたファイルを格納するフォルダーを示します。
- ⑥ [追加]ボタンをクリックして、入力ダイアログを表示します。
- ⑦ 名前、検索フォルダー、作業フォルダーを入力して、[OK]ボタンをクリックします。
※[アプリケーションモード] が「ファイル検索のみ」の場合は、作業フォルダーを入力する必要はありません。



- ⑧ フォルダの一覧に入力内容が反映されます。



- ⑨ その他を設定します。[次へ]ボタンをクリックして[プロパティ]タブまで進めます。その他に以下の項目を設定することができます。各項目については、67 ページのシステム設定をご覧ください。

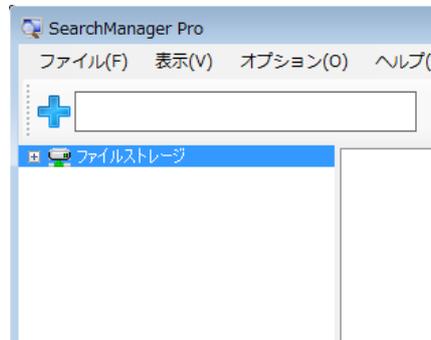
- ・ フォルダ登録のオプション
- ・ ツリー分割
- ・ 拡張子連携
- ・ 除外ファイル
- ・ プロパティ

- ⑩ [保存]ボタンを実行して、システム設定を保存します。
システム設定の保存時に、登録した検索フォルダーにインデックスが作成されていない場合はインデックスの自動作成を実行します。
ただし、登録した検索フォルダーがネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブの場合は自動作成できません。

《インデックスの自動保存》

1. [保存]ボタンを実行します。
2. インデックス自動作成ダイアログが表示されます。
3. 「検索対象フォルダーのインデックスの作成を開始します」を選択します。

4. 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。
 5. インデックスの作成が開始されます。
 6. インデックスの作成が完了すると、ステータスバーにインデックス作成完了と表示されます。
- ⑪ **SearchManager Pro** のフォルダツリーに、登録した検索フォルダーが表示されます。



- ⑫ 64bit 版の **SearchManager Pro** をご使用の場合は、[オプション]-[SOLIDWORKS 参照関係の再取得]を実行すると、SOLIDWORKS ファイルの参照関係を取得し、ファイル移動時に参照関係を維持できます。

2.2 インデックスの作成

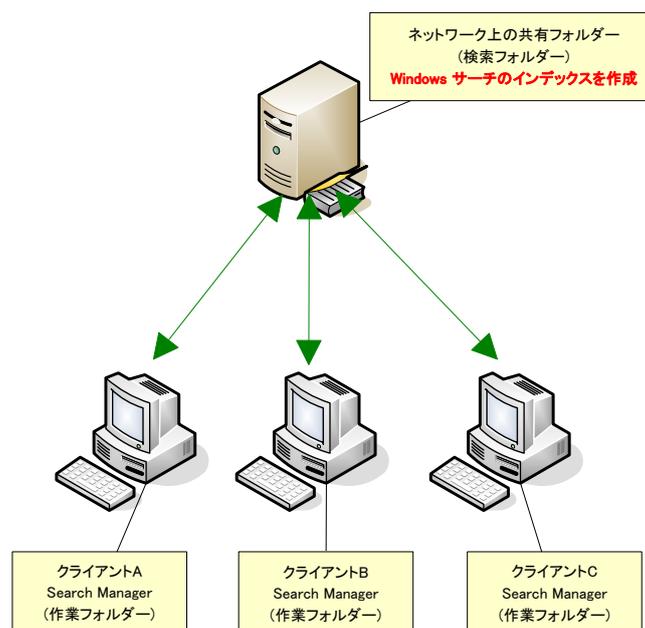
Windows サーチに検索フォルダーを登録してインデックスを作成します。

SearchManager Pro では、インデックスが作成されたファイルのみ検索することができるようになります。

■ ネットワーク共有ファイルのインデックスの作成について

Windows サーチのインデックスは、検索ファイルの存在する PC 環境で作成する必要があります。

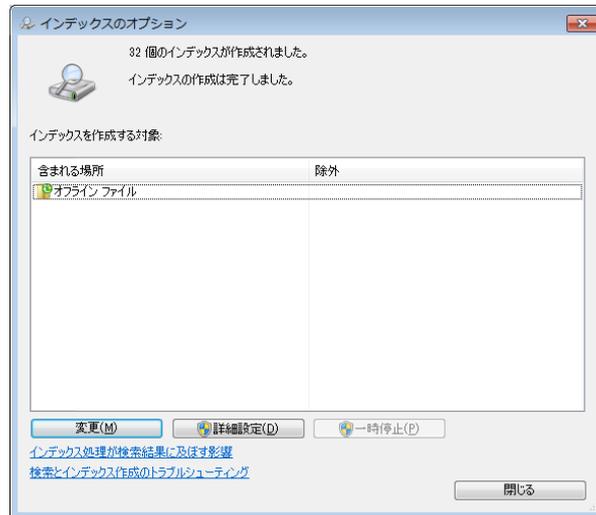
その為、ファイルサーバーのファイルは、ファイルサーバーの Windows サーチに登録してインデックスを作成します。



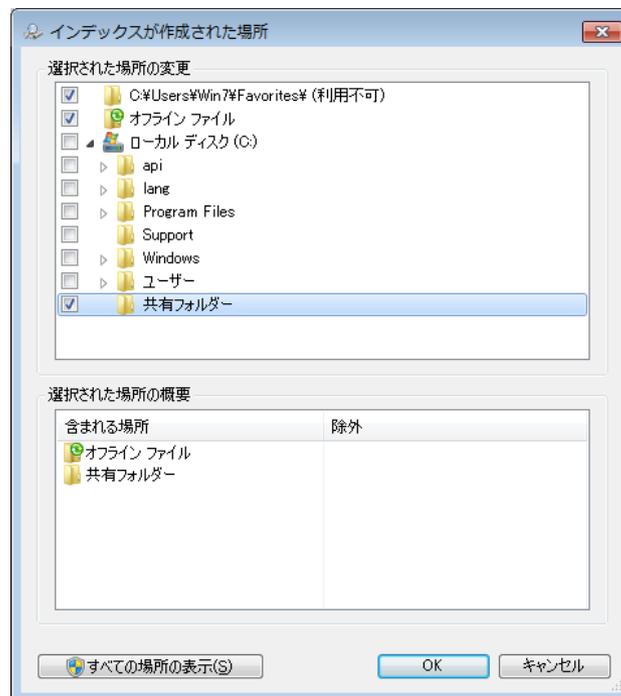
ファイルサーバーの共有ファイルを検索する場合、各クライアント PC はファイルサーバーのインデックスを参照して検索することができる為、クライアントごとにインデックスを作成する必要はありません。

■ フォルダの登録方法

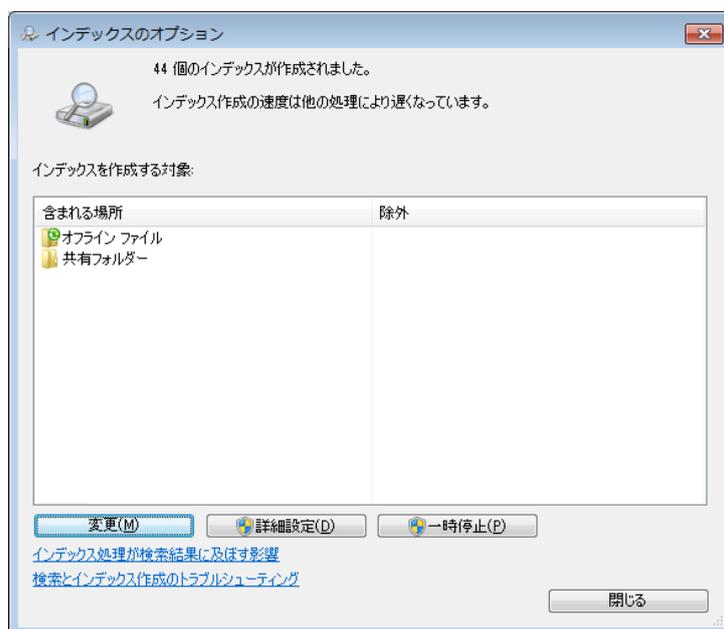
- ① Windows の[コントロールパネル]-[インデックスのオプション]をクリックして、インデックスのオプションを表示します。



- ② [変更]ボタンをクリックして、検索するフォルダーにチェックを入れて[OK]ボタンを押します。



③ インデックスの作成が開始されます。



④ インデックスが作成されると、「インデックスの作成は完了しました。」と表示されます。

ワンポイント

インデックスの作成が完了していない場合、**SearchManager Pro** のファイル検索結果は正しくない場合があります。

ライセンスの認証方法

SearchManager Pro は CADSUPER 保守契約ユーザー向けのライセンス認証(無償)と、アクティベーションによるライセンス認証(有償)があります。

■ SearchManager Pro の試用期限

SearchManager Pro は、初回起動から 1 ヶ月間の試用期間では無料をご利用いただけます。

■ SearchManager Pro の無償対象者ユーザーについて

SearchManager Pro は、以下のアンドール製品ユーザー様は、無料をご利用いただけます。

- CADSUPER Works 2015 以降のユーザー様
- CADSUPER 2015 以降のサポート契約加入ユーザー様
- CADSUPER Lite 2015 以降のサブスクリプション契約加入ユーザー様

※ 注意事項

- ・ 動作 PC には各製品の IDBOX を接続する必要があります。
- ・ CADSUPER(Lite)の場合、ライセンスファイルをダウンロードする必要があります。

試用期間以降は、ライセンスの認証が必要となります。上記の無償対象者以外のユーザー様にはアクティベーションによるライセンス認証(有償)を提供しています。CADSUPER Works 2015 以降のユーザー様は保守契約に関係なく無償をご利用いただけます。

■ SearchManager Pro のライセンス方法

《SearchManager Pro のライセンス認証方法の選択》

- ① メニューバーの[ヘルプ]-[ライセンス]をクリックします。
- ② [ライセンス認証方法の選択]ダイアログが表示されます。**SearchManager Pro** の無償対象者ユーザー様は[CADSUPER 保守契約ユーザー(無償)]を選択してください。その他のユーザー様は[アクティベーション(有償)]を選択して下さい。



CADSUPER 保守契約ユーザー

■ 保守契約期間中のユーザー(無償)

- ① [保守契約期間中のユーザー(無償)]を選択すると、下図のダイアログが表示されます。
- ② ユーザー情報を入力します。お名前、メールアドレス、メールアドレス(確認)は必須事項です。
- ③ ダイアログ左下の「ライセンス期限更新」ボタンをクリックします。

《オンラインの場合》

- ④ 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。
- ⑤ 自動的にライセンスの有効期限を取得し、ライセンス期限のテキストボックスに日付が表示されます。

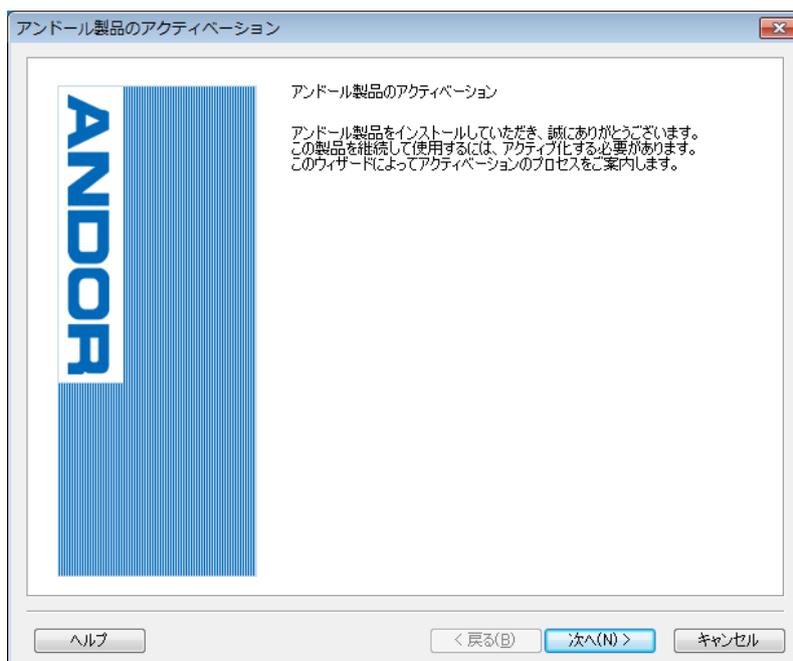
《オフラインの場合》

- ④ あらかじめローカルに保存したライセンス期限ファイル(.lic)をファイルオープンダイアログで選択します。ライセンス期限ファイルをお持ちでない場合、ANDOR のサポートページ (<http://wcent-tr.ador.co.jp/support/support/down/sm.asp>) からライセンス期限ファイルをダウンロードして下さい。
- ⑤ 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。
- ⑥ ライセンス期限ファイルからライセンスの有効期限を取得し、日付が表示されます。

アクティベーション

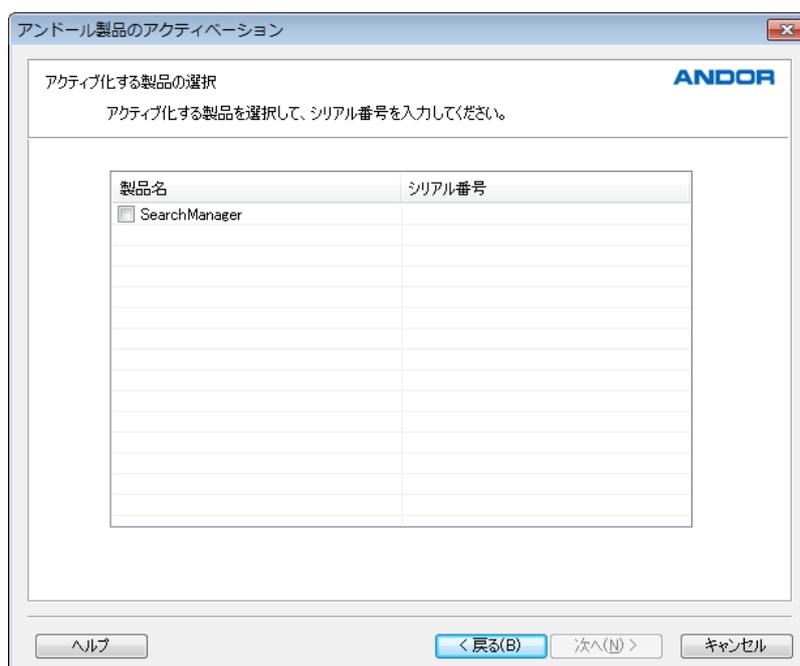
■ アクティベーション(有償)

- ① [アクティベーション(有償)]を選択すると、アクティベーションが開始されます。
[次へ]をクリックしてください。



《オンラインの場合》

- ② チェックボックスにチェックをいれると、シリアル番号の入力ダイアログが表示されます。



アンドール製品のアクティベーション

ユーザー登録 ANDOR

ユーザー情報を登録します。 [プライバシーポリシー](#)

法人、または、個人を選択してください。

法人
法人で登録される場合は、こちらを選択してください。

個人
個人で登録される場合は、こちらを選択してください。

ヘルプ <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

⑥ ユーザー情報を入力します

◆ 法人

アンドール製品のアクティベーション

ユーザー登録 ANDOR

ユーザー登録情報を入力してください [プライバシーポリシー](#)

法人名(※必須)

法人名(フリガナ)

所属部署

業種

業種(その他)

従業員数

ご使用目的

ご使用目的(その他)

ヘルプ <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

1. 法人名
法人名を入力します。(例:〇〇〇株式会社、株式会社〇〇〇など)
2. 法人名(フリガナ)
法人名を全角カタカナで入力します。
3. 所属部署
所属部署を入力します。

4. 業種
業種を選択します。一覧に該当するものがない場合は、「その他」を選択します。
5. 業種(その他)
業種に「その他」を選択した場合のみ、業種を入力します。
6. 従業員数
従業員数を選択します。
7. ご使用目的
ご使用目的を選択します。一覧に該当するものがない場合は、「その他」を選択します。
8. ご使用目的(その他)
ご使用目的に「その他」を選択した場合のみ、ご使用目的を入力します。

入力した情報に間違いがないか確認して、「次へ」を入力します。個人のユーザー情報入力ページが表示されます。

※ 注意事項

法人名は必須事項です。業種およびご使用目的に「その他」を選択した場合、業種(その他)およびご使用目的(その他)の欄に入力する必要があります。

◆ 個人

1. ご使用者氏名
ご使用者氏名を入力します。ご使用者氏名は必須です。
2. ご使用者氏名(フリガナ)
ご使用者氏名(フリガナ)を全角カタカナで入力します。
3. 郵便番号
郵便番号(3桁-4桁)を入力します。郵便番号は必須です。
4. ご連絡先住所
ご連絡先住所を入力します。ご連絡先住所は必須です。

5. 電話番号
電話番号を入力します。電話番号は必須です。
6. FAX 番号
FAX 番号を入力します。
7. E メールアドレス
E メールアドレスを入力します。
8. お買い上げ店名
お買い上げ店名を入力します。
9. お買い上げ年月
お買い上げ年月を選択します。
10. メール配信の希望
メール配信の希望の有無を選択します。
11. コメント
コメントがある場合、コメントを入力します。

入力した情報に間違いがないか確認して、[次へ]をクリックします。

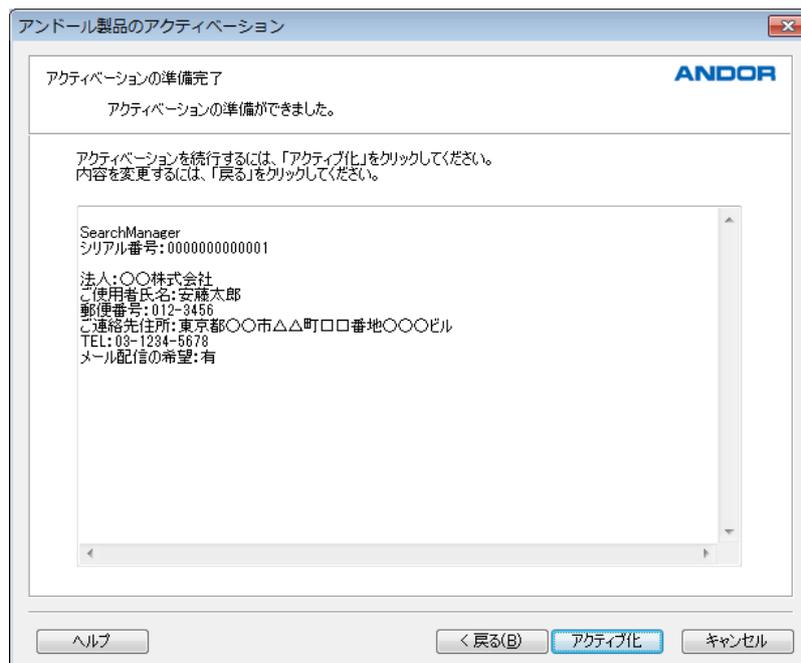
※ 注意事項

ご使用者名、郵便番号、ご連絡先住所、電話番号は必須項目です。

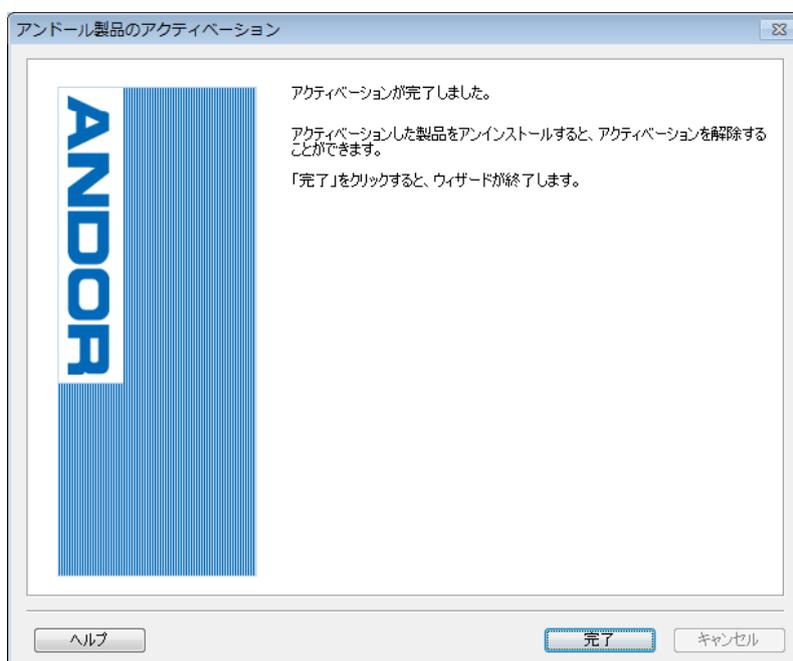
- ⑦ アクティベーションの準備画面が表示されます。**SearchManager Pro** とシリアル番号、入力したユーザー情報が一覧に表示されます。内容を確認して、アクティベーションを続行する場合は、「アクティブ化」ボタンをクリックします。

※ 注意事項

アクティブ化される **SearchManager Pro** のライセンスに対してすでにユーザー登録されている場合、アクティベーションの準備画面にはユーザー情報は表示されません。



- ⑧ アクティベーションが実行され、完了画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックしてウィザードを終了します。



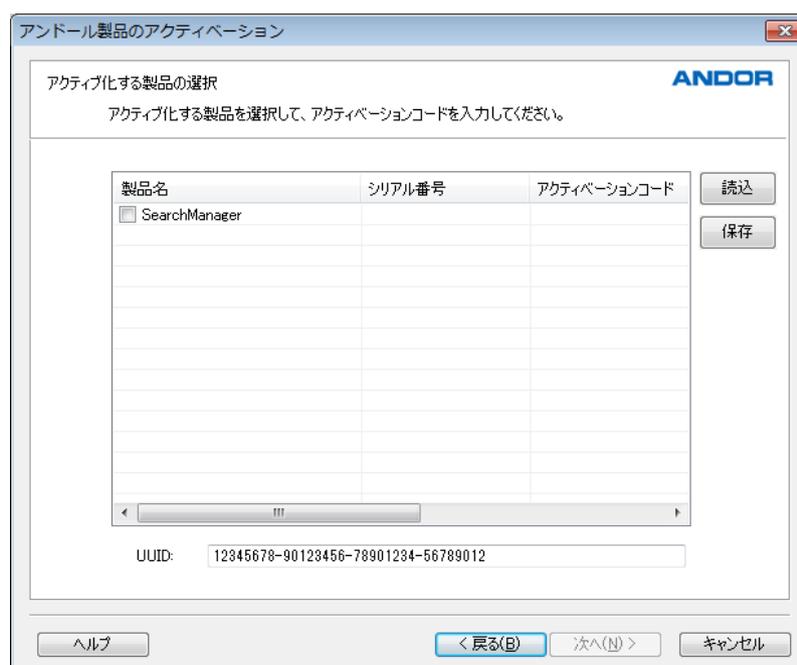
《オフラインの場合》

- ① インターネットに接続されていないご使用のコンピューターに対して、アクティベーションする場合、シリアル番号以外にアクティベーションコードを入力する必要があります。アクティベーションコードはインターネットに接続されたコンピューターから取得できるので、まずアクティベーションファイルを作成し、別のコンピューターに送信する必要があります。

◆ アクティベーションファイル(*.act)

アクティベーションファイル(*.act)はご使用のコンピューターの UUID、**SearchManager Pro** の GUID、シリアル番号の他、作成したアクティベーションコード、アクティベーション解除コードを保存します。ここでは、ファイルを別コンピューターに送信することで、アクティベーションコードを取得するために必要な情報を簡単に受け渡すことができます。

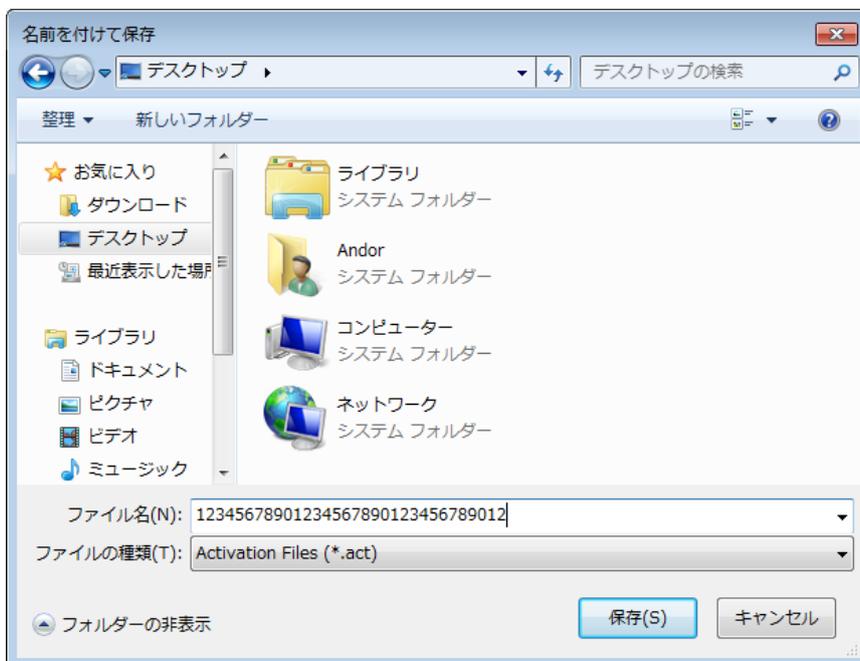
- ② **SearchManager Pro** のチェックボックスにチェックを入れて、シリアル番号入力ダイアログを表示します。



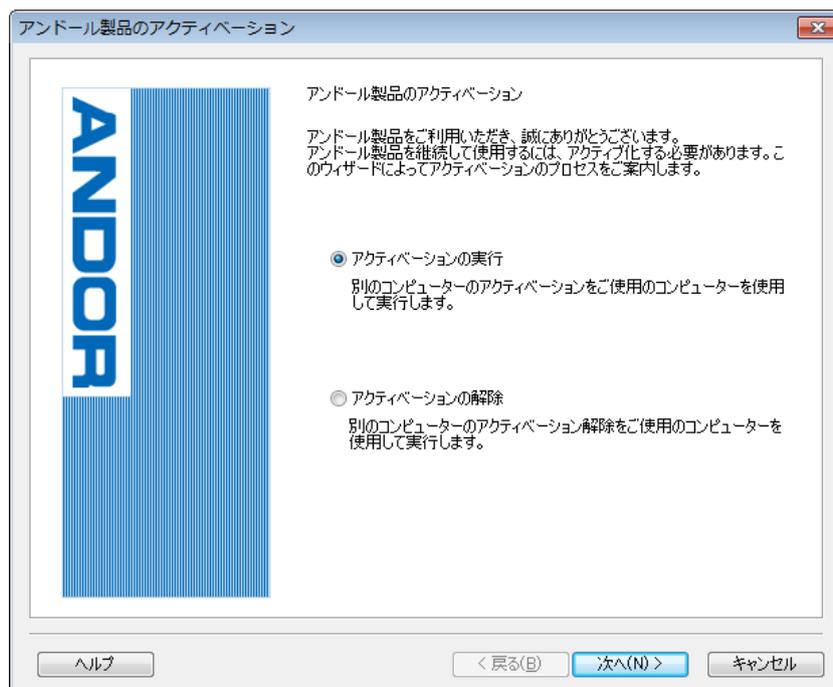
- ③ シリアル番号(13桁)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



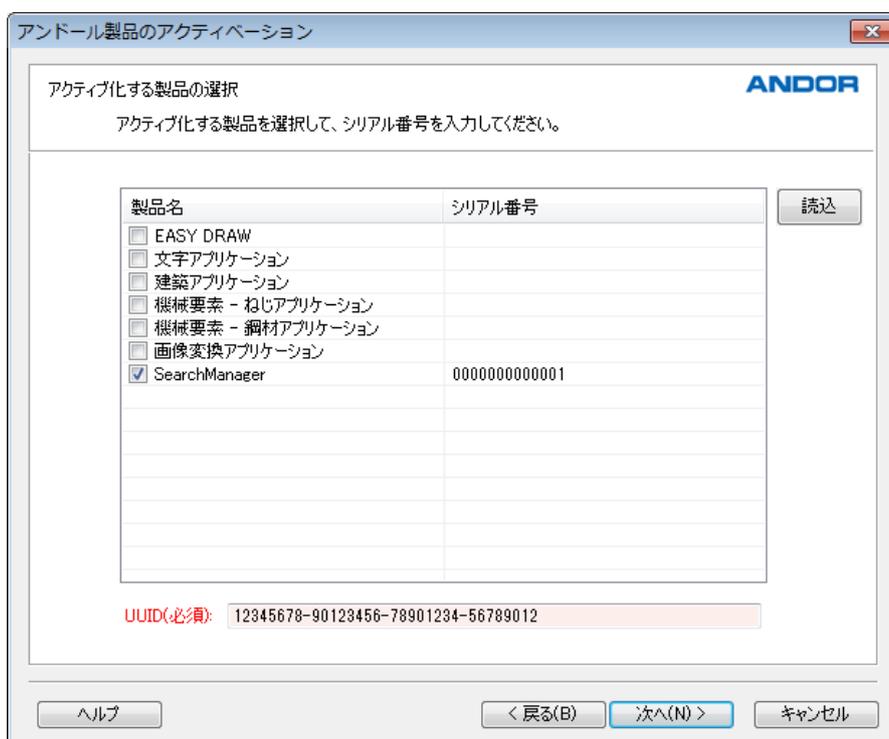
- ④ UUID、シリアル番号が表示されているか確認して、一覧横の[保存]ボタンをクリックして、ファイルダイアログを開きます。保存先を指定して、ファイル名を入力し[保存]ボタンをクリックします。アクティベーションファイルにご使用のコンピューターの UUID、**SearchManager Pro** の製品 GUID とシリアル番号が保存されます。



- ⑤ インターネットに接続された別コンピューターでアクティベーションウィザードを起動します。[アクティベーションの実行]を選択して、[次へ]をクリックします。



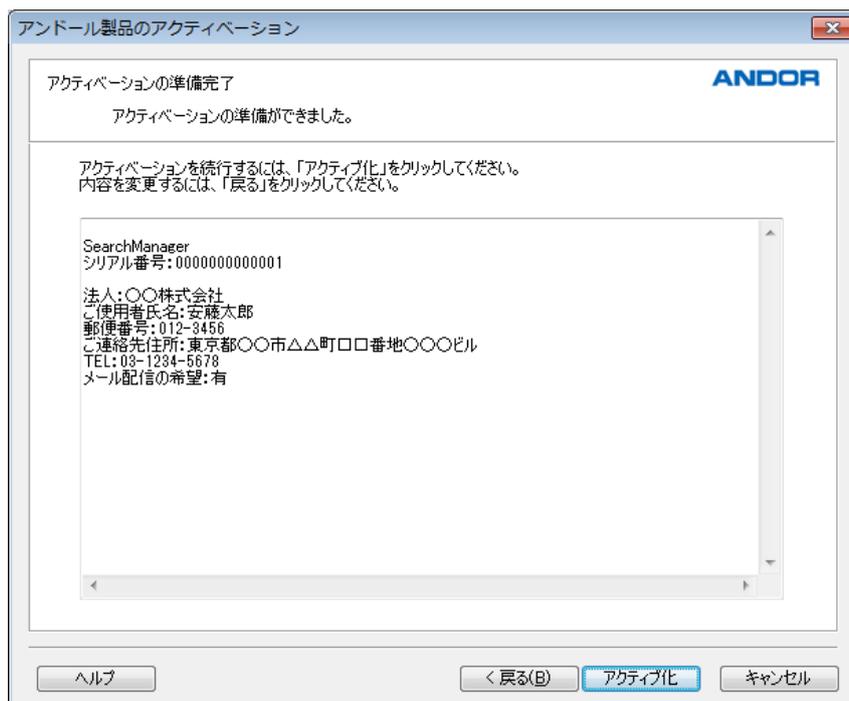
- ⑧ ファイルに保存された製品のシリアル番号とご使用のコンピューターの UUID が読み込まれます。



《UUID とシリアル番号の入力》

UUIDと製品のシリアル番号は直接入力できます。UUIDを直接入力する場合、UUID欄にカーソルを合わせて入力します。シリアル番号は製品名横のチェックボックスにチェックを入れた時にダイアログが表示されます。ダイアログにチェックを入れた製品のシリアル番号を入力して[OK]ボタンをクリックします。アクティベーションする製品のチェックボックスにチェックを入れて[次へ]をクリックします。

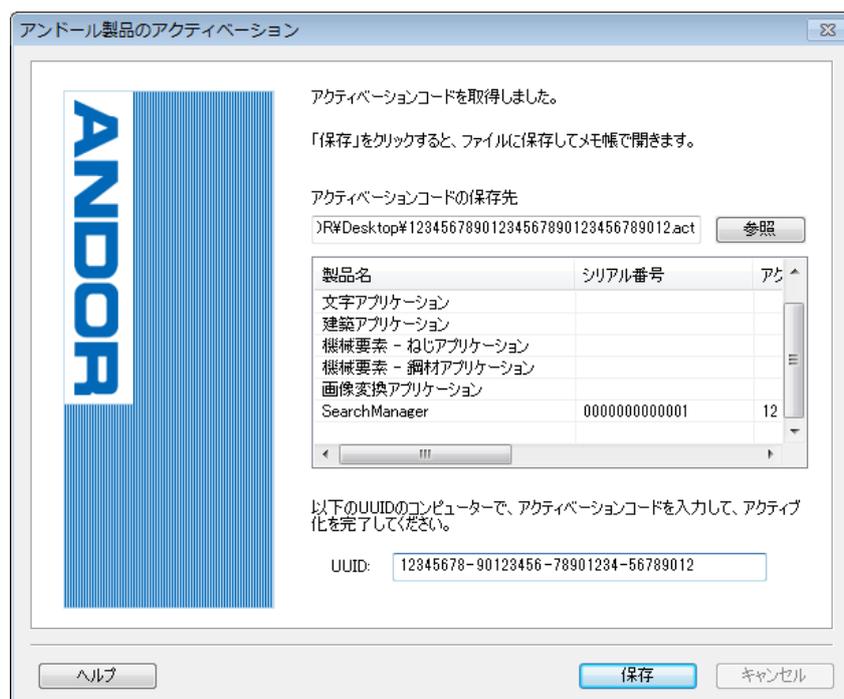
- ⑨ ユーザー登録を行います。ユーザー登録に関しては《ご使用のコピーがインターネットに接続されている場合》の③、④(22 ページ)をご覧ください。
- ⑩ アクティベーションを実行するアンドール製品名とその製品のシリアル番号、入力したユーザー情報が一覧に表示されます。内容を確認して、アクティベーションを続行する場合は、[アクティベーション]ボタンをクリックします。



※ 注意事項

アクティブ化される、**SearchManager Pro** のライセンスに対して、すでにユーザー登録されている場合、アクティベーションの準備画面にはユーザー情報は表示されません。

- ① [アクティブ化]ボタンをクリックすると、選択した製品のアクティベーションコードを取得します。アクティベーション化された製品名、シリアル番号、アクティベーションコードがリストに表示されます。[保存]ボタンをクリックすると、アクティベーションの保存先欄のディレクトリにアクティベーションファイル(*.act)が作成され、ウィザードを終了します。

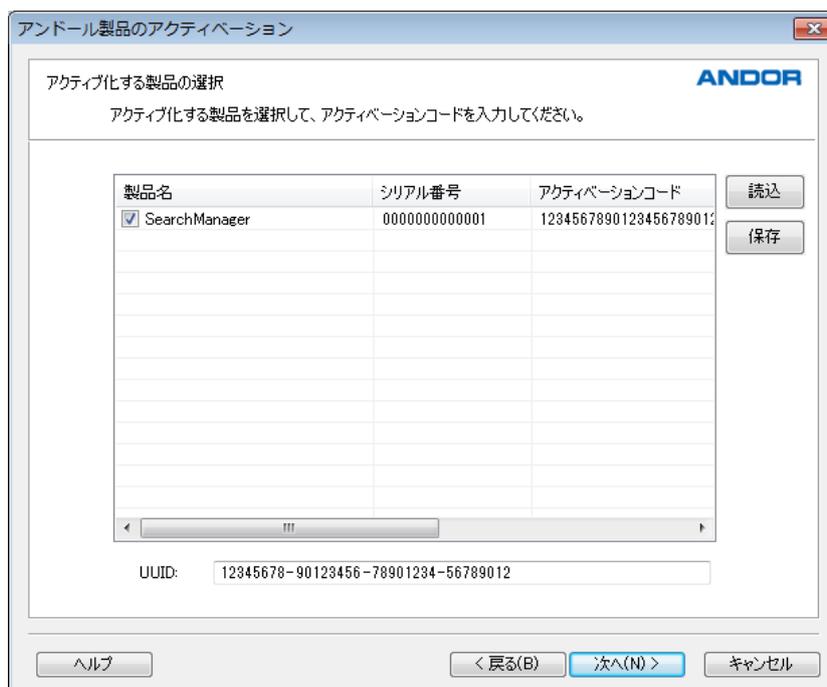


《アクティベーションの保存先》

[参照]ボタンをクリックしてファイルダイアログを表示します。

アクティベーションファイルの保存先は直接入力することができます。

- ⑫ 再びご使用のコンピューターでアンドール製品を起動して、アクティブ化する製品の選択画面を表示します。[読込]ボタンをクリックし、取得したアクティベーションコードをファイルから読み込みます。

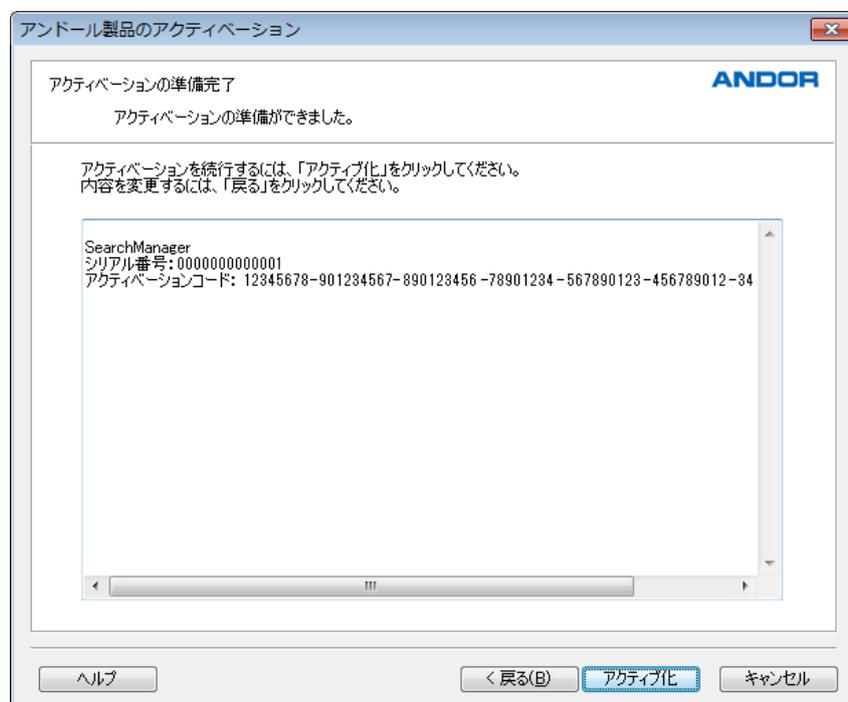


- ⑬ アクティベーションコードが入力されているのを確認して、[次へ]をクリックします。

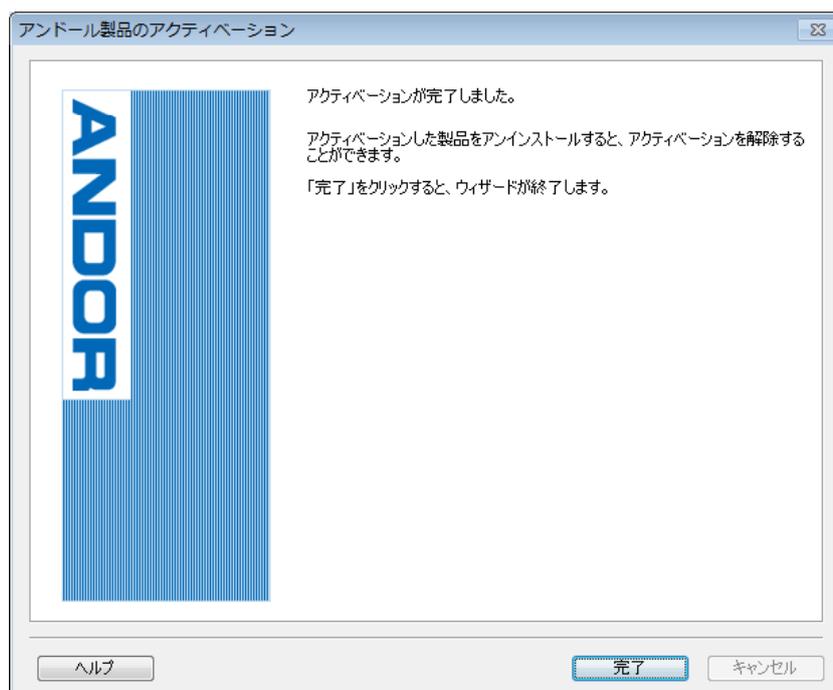
《アクティベーションコードの入力》

各製品名横のチェックボックスにチェックを入れると、アクティベーションコードの入力ダイアログが表示されます。アクティベーションコードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、クリックした製品のアクティベーションコードが修正されます。

- ⑭ 選択した製品の製品名、シリアル番号、アクティベーションコードが一覧に表示されます。内容に間違いがある場合は[戻る]ボタンをクリックして内容を修正できます。入力した情報に間違いがない場合、[アクティブ化]をクリックします。



- ⑮ [アクティブ化]ボタンをクリックすると、ご使用のコンピューターのアクティベーションが完了します。



■ アクティベーションの解除

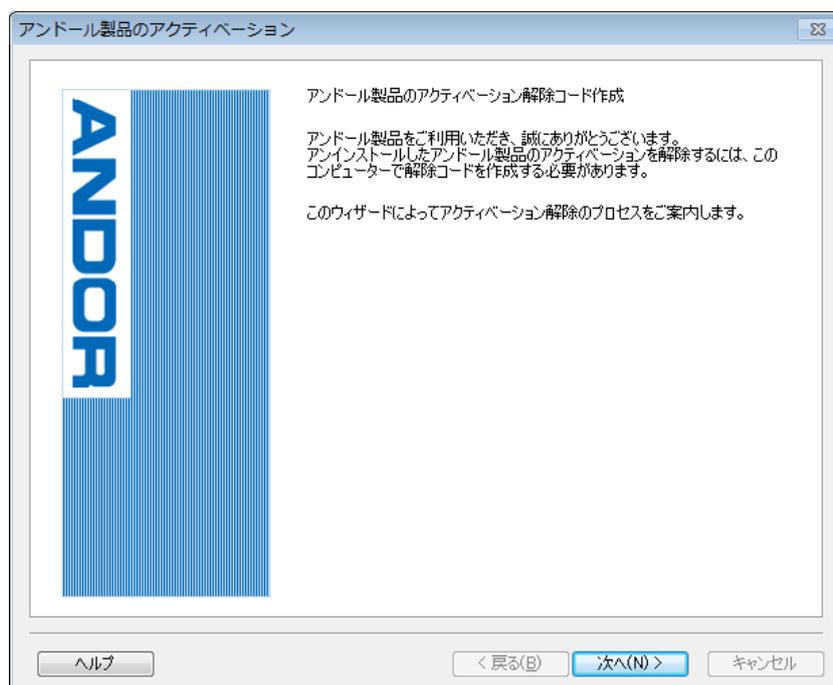
ご使用のコンピューターがインターネットに接続されている場合、アンドール製品をアンインストールするとアクティベーションは自動的に解除されます。ご使用のコンピューターがインターネットに接続されていない場合、アンインストール時にアクティベーションは自動的に解除されません。解除する場合は、アクティベーション解除コードを取得し、インターネットに接続された別コンピューターでアクティベーションを解除する必要があります。

ご使用のコンピューターがインターネットに接続されている場合

- ① 製品のアンインストール
製品をアンインストールすると、アクティベーションは自動的に解除されます。

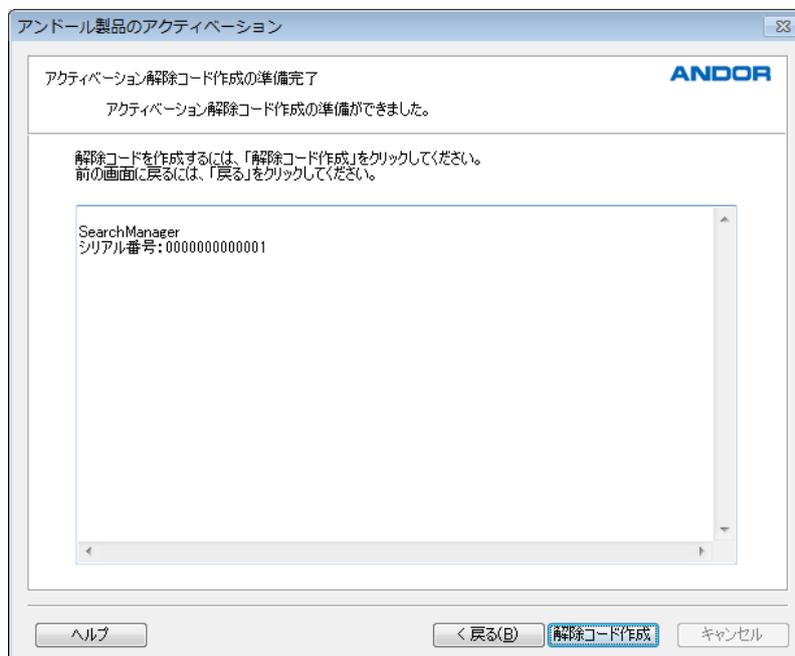
ご使用のコンピューターがインターネットに接続されていない場合

- ① 製品のアンインストール
ご使用のコンピューターがインターネットに接続されていない場合、アクティベーションは自動的に解除されません。ご使用のコンピューターでアクティベーション解除コードを作成し、インターネットに接続されている別コンピューターに解除コードを渡してアクティベーションを解除します。ご使用のコンピューター上で製品をアンインストールすると、アクティベーションの解除コード作成ウィザードが開始されます。解除コード作成を続行するには、[次へ]をクリックしてください。



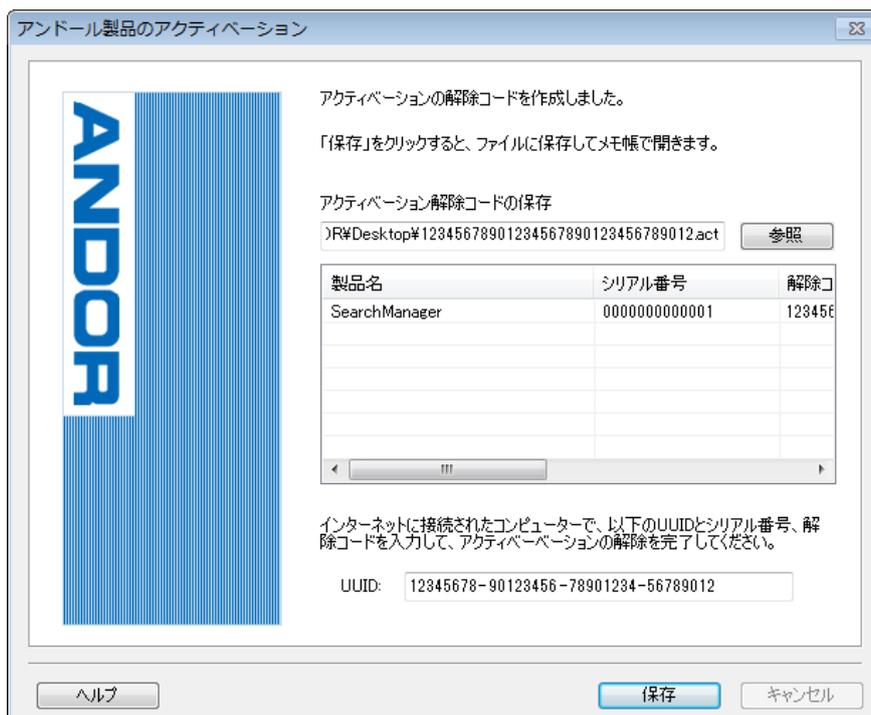
② アクティベーション解除コードの取得

アクティベーション解除コードを作成する製品名と製品のシリアル番号が表示されます。内容を確認して[解除コード作成]ボタンをクリックします。



③ 製品名、シリアル番号、作成したアクティベーション解除コードがリストに表示されます。

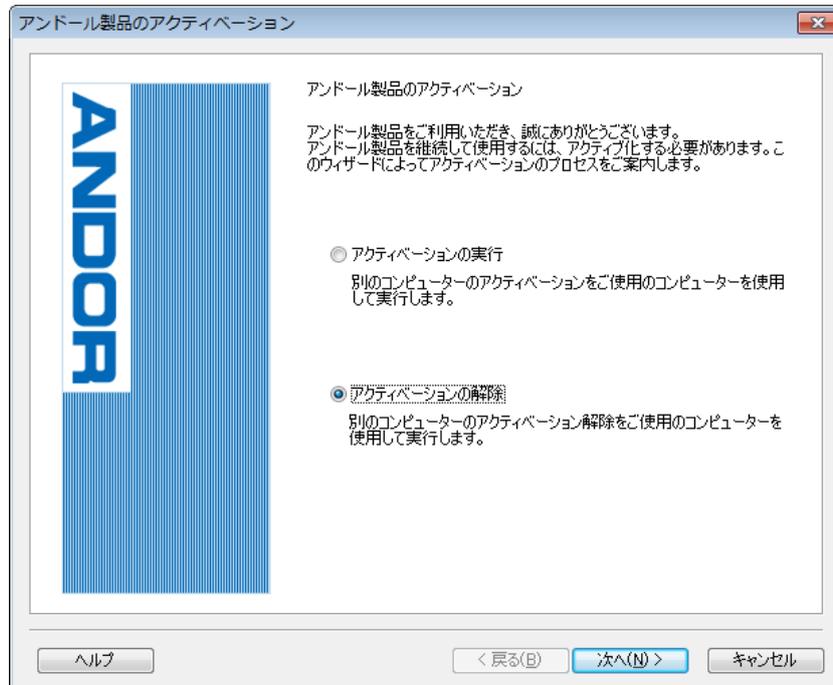
[保存]ボタンをクリックすると、アクティベーション解除コードの保存先にアクティベーションファイル(*.act)が保存され、ウィザードを終了します。アクティベーションファイルにはご使用のコンピューターの UUID、製品番号、シリアル番号、解除コードが保存されます。このアクティベーションファイルをオンライン環境の別コンピューターに受け渡します。



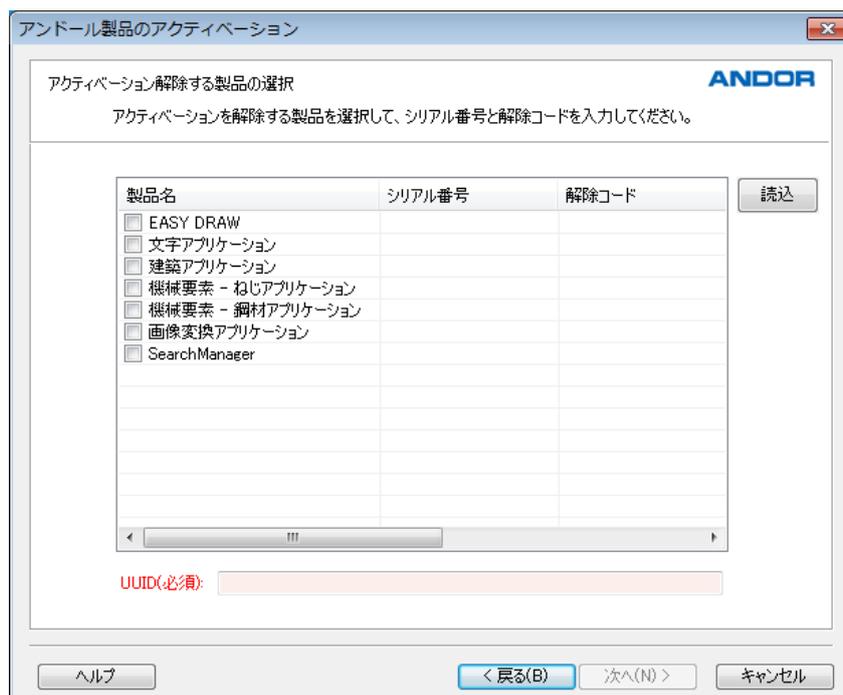
《アクティベーション解除コードの保存先》

解除コードを保存するアクティベーションファイルは参照ボタンをクリックしてファイルダイアログで参照先を開くか、保存先欄にディレクトリを入力します。

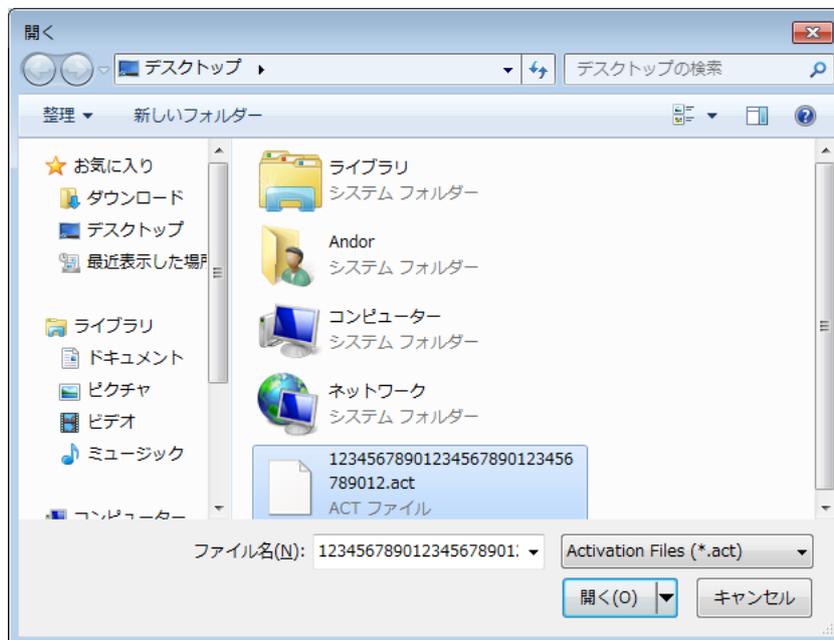
- ④ インターネットに接続できる別コンピューターで解除コードを使用してアクティベーションを解除します。アクティベーションウィザードを起動します。
[アクティベーションの解除]を選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑤ アンドール製品が一覧に表示されます。アクティベーションを解除する場合、UUID と解除する製品のシリアル番号と解除コードを入力する必要があります。



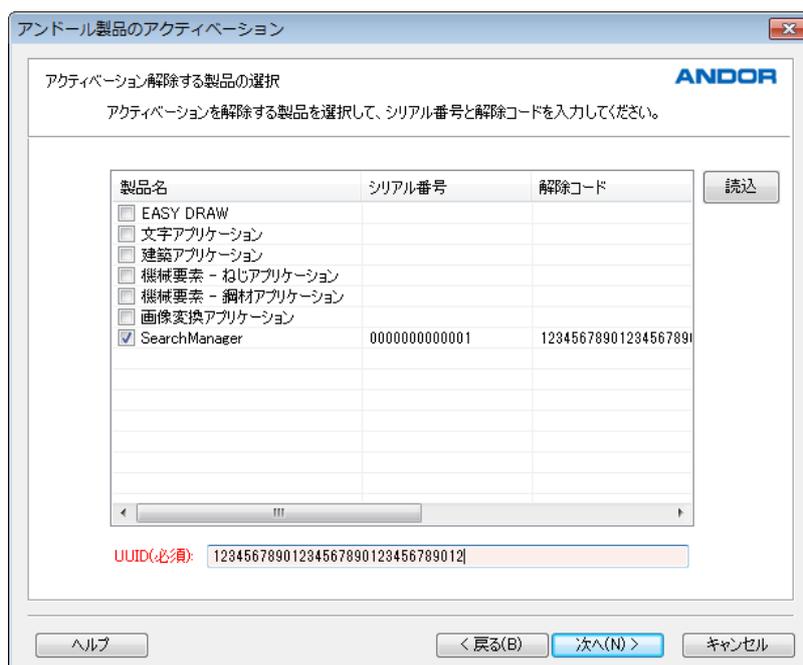
- ⑥ [読込]ボタンをクリックしてファイルダイアログを表示します。先程作成したアクティベーションファイルを選択して[開く(O)]をクリックします。ファイルからご使用のコンピューターUUID、製品のシリアル番号、アクティベーション解除コードを読み込みます。



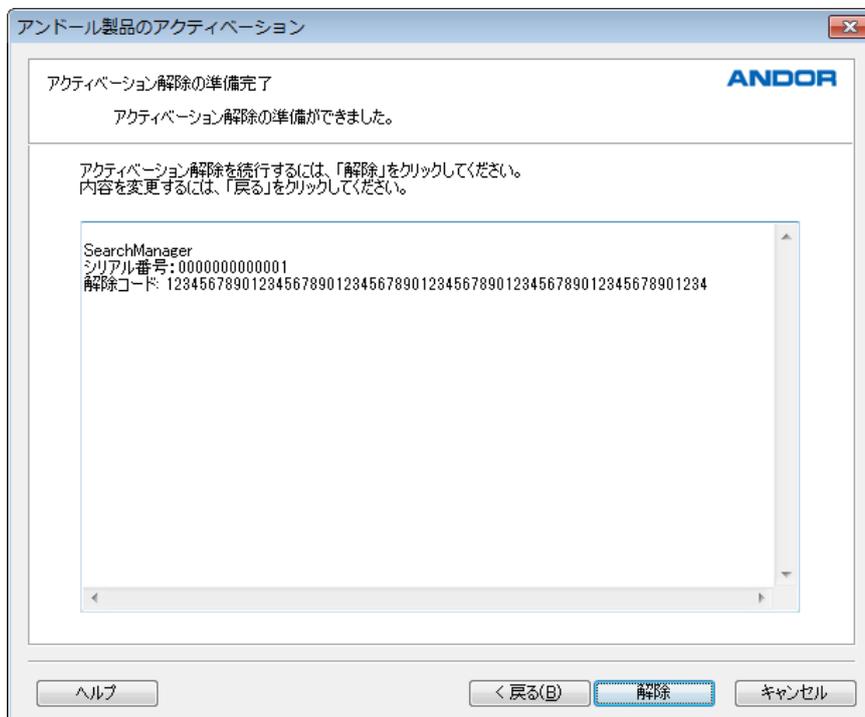
- ⑦ アクティベーションを解除する製品名のチェックボックスにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

《UUID、シリアル番号と解除コードの入力》

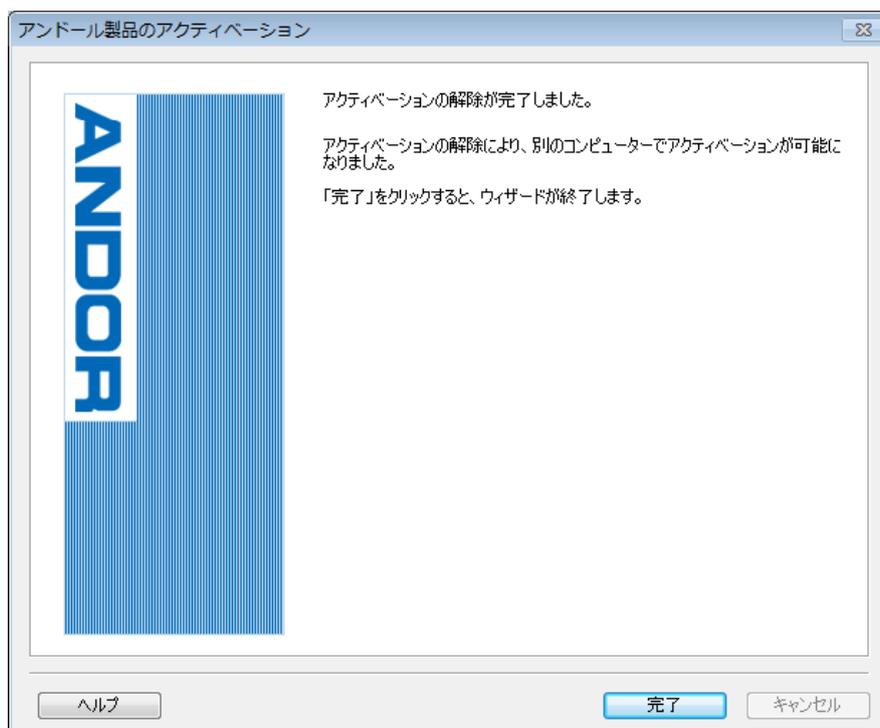
UUID は直接 UUID 欄へ入力することができます。また各製品名の横のチェックボックスにチェックが入れた時、ダイアログが表示されます。シリアル番号・解除コードを修正する場合、チェックボックスを外してもう一度クリックしてください。



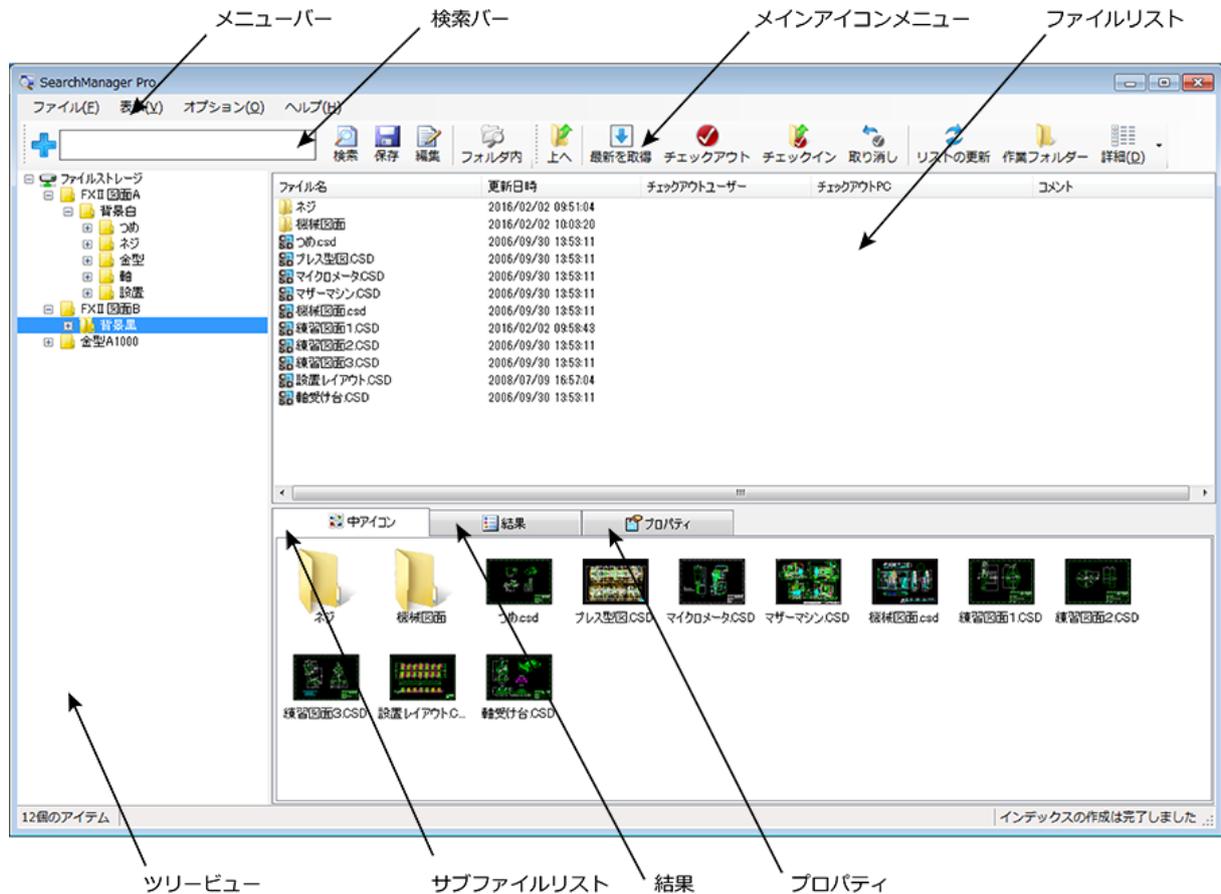
- ⑧ アクティベーションを解除する製品の製品名、シリアル番号、解除コードが一覧に表示されます。内容を確認して間違った内容がある場合は、[戻る]ボタンをクリックします。内容に間違いがないか確認して、[解除]ボタンをクリックすると、アクティベーションが解除されます。



- ⑨ [完了]ボタンをクリックすると、ウィザードは終了します



ユーザーインターフェイス



■ メニューバー

(※)マークはシステム設定のアプリケーションモードを[ファイル検索とファイル管理]に設定した時のみ、メニューバーに表示されます。

ファイル

- ・ **新しいフォルダーの作成**
新しいフォルダーを作成します。
- ・ **最新を取得(※)**
検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーします。
- ・ **チェックアウト(※)**
検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーし、他ユーザーが編集できないように排他制御を行います。
- ・ **チェックイン(※)**
チェックアウトしたファイルを検索フォルダーにコピーしてファイルを更新します。
- ・ **チェックアウトの取り消し(※)**
チェックアウトしたファイルのチェックアウト状態を解除し、作業ファイルの編集を取り消します。

- ・ 終了
SearchManager Pro を終了します。

表示

- ・ 表示タイプ
ファイルリストのサムネイル表示・詳細表示を切り替えます。
- ・ ファイルリストの更新
ファイルリストを更新します。
- ・ サムネイルキャッシュのクリア
アイコン・サムネイルのキャッシュデータを削除します。
- ・ リストビュー設定のクリア
各フォルダー・検索に保存されているリストビューの表示設定をクリアします。

オプション

- ・ ユーザー設定
ユーザー固有の設定を編集します。
- ・ インデックスのオプション
Windows サーチの インデックスのオプション ダイアログを表示します。
- ・ システム設定
SearchManager Pro 全体の設定を行います。
- ・ SOLIDWORKS 参照関係の再取得(64bit 版のみ)(※)
SOLIDWORKS ファイルの参照関係を取得します。

ヘルプ

- ・ ヘルプ
ヘルプを開きます。
- ・ ライセンス
SearchManager Pro のライセンス認証を実行します。
- ・ バージョン情報
SearchManager Pro のバージョン情報を表示します。

■ 検索バー

ファイル検索を実行します。ファイル検索については、48 ページの[ファイル検索]をご参照ください。

■ メインアイコンメニュー

(※)マークはシステム設定のアプリケーションモードをファイル検索とファイル管理に設定した時のみ、メニューバーに表示されます。

- ・ 上へ
親フォルダーへ移動します。
- ・ 最新を取得(※)
検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーします。
- ・ チェックアウト(※)
検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーし、他ユーザーが編集できないように排他制御を行います。
- ・ チェックイン(※)
チェックアウトしたファイルを検索フォルダーにコピーしてファイルを更新します。
- ・ チェックアウトの取り消し(※)
チェックアウトしたファイルのチェックアウト状態を解除し、作業ファイルの編集を取り消します。
- ・ ファイルリストの更新
ファイルリストを更新します。
- ・ 検索フォルダー/作業フォルダー
開いているまたは選択しているフォルダーをエクスプローラーで開きます。
アプリケーションモードでファイル検索のみの場合は検索フォルダー、ファイル検索とファイル管理の場合は作業フォルダーが開きます。
- ・ 表示タイプ
ファイルリストのサムネイル表示・詳細表示を切り替えます。

■ ツリービュー

SearchManager Pro は、フォルダーツリー、検索フィルター、検索ツリーの3種類をツリービューで表示します。

- ・ フォルダーツリー
登録した検索フォルダーをツリー形式で表示します。
ノードのプラスマークをクリックするとサブフォルダーを表示し、マイナスマークをクリックするとサブフォルダーを閉じます。
フォルダーアイコン上で右クリックすると、メニューを開くことができます。
- ・ 検索フィルター
検索条件を入力して保存すると検索フィルターを作成できます。
検索フィルターをクリックすると、保存した検索条件で検索されます。
フィルターの保存・編集についての手順はこちらをご覧ください。
フィルター上で右クリックすると、メニューを開くことができます。
- ・ 検索ツリー(ツリー作成時のみ)
検索条件にツリー作成を指定した場合、ツリービューにツリーが作成されます。
ノードのプラスマークを押すと指定した値ごとに分岐されます。
検索条件にツリー作成を指定していない場合、ツリービューに[検索]のノードは表示されません。

■ ファイルリスト・サブファイルリスト

SearchManager Pro では、ファイルリストとサブファイルリストを連動させて異なる表示形式でファイル・フォルダーを表示することができます。

・ ファイルリストとサブファイルリストの連動

ファイルリストの表示形式	サブファイルリストの表示形式
特大アイコン 	詳細 
大アイコン 	
中アイコン 	
小アイコン 	サムネイル (特大アイコン・大アイコン・中アイコン) 
一覧 	
詳細 	

ファイルリストが、小アイコン、一覧、詳細の場合、サブリストビューはサムネイルで表示されます。サムネイルの設定はユーザー設定のサブリストビューの表示方法で特大アイコン、大アイコン、中アイコンのいずれかに設定します。

ファイルリストが、特大アイコン、大アイコン、中アイコンの場合、サブリストビューは詳細で表示されます。

・ ファイルリスト・サブファイルリストのフォルダー表示

ユーザー設定でファイルリスト・サブファイルリスト上にフォルダーを表示または非表示に設定することができます。

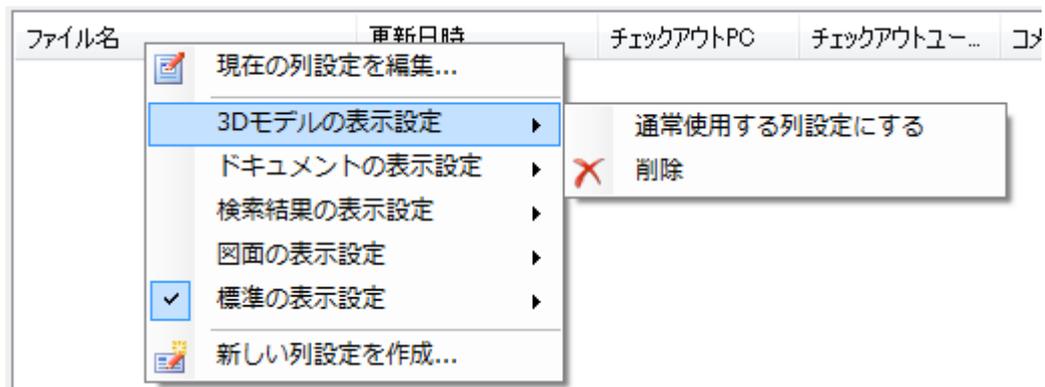
■ ファイルアイコン



アイコン	ステータス	説明
	チェックアウト (文字色:赤)	ユーザーがファイルをチェックアウトして編集中であることを表します。 このファイルを他のユーザーが編集することはできません。
	読み取り専用 (文字色:青)	ファイルが読み取り専用設定されていることを表します。 このファイルを編集することはできません。

■ 列設定の切り替え

カーソルをリストビューの列に合わせて右クリックを押すと、列を設定することができます。

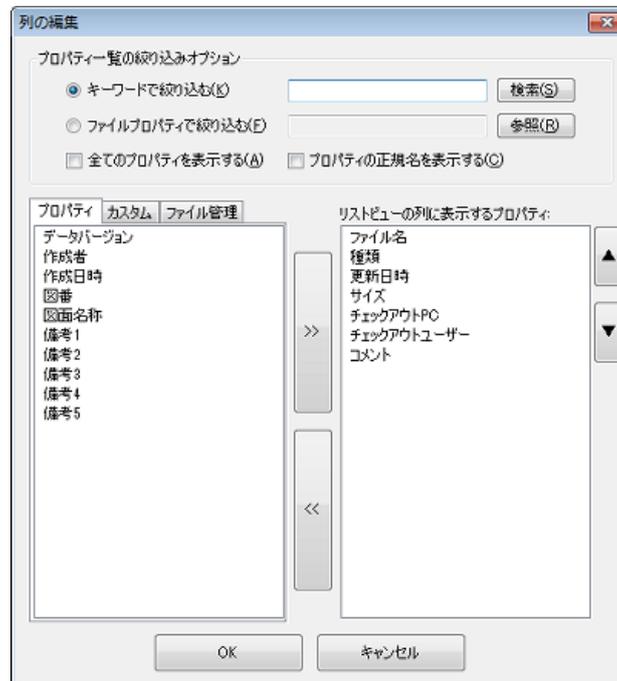


- ・ **現在の列設定を編集**
現在表示されているリストビューの列を編集します。
- ・ **列設定の選択**
「新しい列設定を作成...」で作成した列設定が表示されます。
列設定をクリックすると、チェック ON となり、リストビューの列設定が切り替わります。
- ・ **通常使用する列設定にする**
チェックを ON にすると、初めて開くフォルダーや検索では、その列設定を使用してリストビューを表示します。
- ・ **削除**
列設定を削除します。

- ・ **新しい列設定を作成**
新しい列設定を作成します。

■ 列設定の編集

カーソルをリストビューの列に合わせ右クリックを押すと、列を設定することができます。



- ・ **キーワードで絞り込む**
プロパティ名・正規名を対象に検索キーワードでプロパティ一覧を絞り込みます。
- ・ **ファイルプロパティで絞り込む**
ファイルを指定して使用できるプロパティのみを表示します。
- ・ **全てのプロパティを表示する**
チェックを ON にすると、全てのプロパティを表示します。
- ・ **プロパティの正規名を表示する**
チェックを ON にすると、プロパティの正規名を表示します。
- ・ **>>**
リストビューの列にプロパティを追加します。
- ・ **<<**
リストビューの列からプロパティを削除します。

■ 結果

ファイル名	検索フォルダー	作業フォルダー	メッセージ
スライディングシール.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	ファイルが存在しません。
つゆ.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	読み取り専用ファイルのため、処理をスキップしました。
練習図面3.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	チェックインしました。
練習図面2.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	チェックインしました。
練習図面1.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	チェックインしました。
設置レイアウト.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	チェックインしました。
軸受付台.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
軸受キャップ.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
機械図面.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
マザーマシン.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
マイクロメータ.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
プレス型図.CSD	C:\ファイルストレージ\FXII 図面A\背景白図面	C:\作業フォルダ\FXII 図面A\背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。

コマンド実行後、コマンドの実行結果が結果パネルに出力されます。

SearchManager Pro では、実行結果を4つに分けて表示します。

表示内容は結果一覧の上部にあるツールボタンをクリックして、非表示に切り替えることができます。また、ツールボタン名の横には、実行結果の件数が表示されます。

ツールボタン一覧

アイコン	ステータス	説明
	正常	処理が正常に実行されたことを表します。
	情報	処理が正常に実行されたが、表記すべき情報があることを表します。
	警告	処理条件と一致しないため、処理が実行されなかったことを表します。
	エラー	エラーが発生したため、処理が正常に実行されなかったことを表します。

■ プロパティ

ファイルのプロパティを表示します。詳細は、59 ページの[プロパティ]をご参照ください。

■ 参照先

選択したファイルが別の部品やアセンブリを参照している場合、参照しているファイル一覧を参照先タブに表示します。参照ファイルが見つからない場合は、参照先が赤文字で表示されます。

① [参照先]タブのファイル一覧からファイルを選択します。

② 右クリックメニューを表示します。

- ・ [開く]

選択したファイルが関連付けられたアプリケーションで開きます。

- ・ [フォルダーを開く]

選択したファイルの場所を開きます。

- ・ [置き換え]

ファイル参照ダイアログが表示されます。ダイアログでファイルを選択すると、参照先を置き換えることができます。

■ 使用先

選択したファイルを参照しているファイルがある場合、使用先タブが表示されます。
この使用先タブは選択したファイルを参照しているファイルの一覧を表示します。

- ① 使用先タブのファイル一覧からファイルを選択します。
- ② 右クリックメニューを表示します。
 - ・ 開く
使用先リストの選択したファイルが関連付けられたアプリケーションで開きます。
 - ・ フォルダーを開く
選択したファイルの場所を開きます。

SOLIDWORKS ファイル対応

構成部品や外部参照しているファイルを保持するアセンブリおよび図面は、参照先ファイルを連携させてコマンドを実行することができます。

■ 対応している SOLIDWORKS バージョン

- ・ **32bit 版 SearchManager Pro**
SOLIDWORKS 2009 ~ 2014 で保存された SOLIDWORKS ファイルに対応しています。
- ・ **64bit 版 SearchManager Pro**
SOLIDWORKS 2009 以降のバージョンで保存された SOLIDWORKS ファイルに対応しています。

■ 参照先ファイルと連携が可能なコマンド一覧

 最新を取得	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルの最新を取得します。
 チェックアウト	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルをチェックアウトします。
 チェックイン	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルをチェックインします。
 チェックアウトの取り消し	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルのチェックアウトを取消します。

■ 注意事項

- ・ SOLIDWORKS 2015 以降のファイルを扱うには、64bit 版 **SearchManager Pro** をご使用ください。

SOLIDWORKS ファイルの参照関係の維持

この機能は、64bit 版 **SearchManager Pro** のみの機能となります。

SOLIDWORKS のファイルが参照しているファイルを移動した場合、**SearchManager Pro** が自動的に SOLIDWORKS ファイル内部に保存されている参照パスを更新して、参照関係を維持します。

■ SOLIDWORKS 2009 以降のバージョンで保存された下記のファイルに対応しています。

- ・ SOLIDWORKS アセンブリファイル(*.SLDASM)
- ・ SOLIDWORKS 部品ファイル(*.SLDPRT)
- ・ SOLIDWORKS 図面ファイル(*.SLDDRW)

■ 機能の説明

・ [SOLIDWORKS 参照関係の再取得]

はじめに、[オプション] - [SOLIDWORKS 参照関係の再取得] を実行して、全ての SOLIDWORKS ファイルの参照関係を取得しておく必要があります。

SOLIDWORKS 参照関係の取得は、初回に 1 度だけ実行すれば良く、以降は **SearchManager Pro** を使用して SOLIDWORKS ファイルの操作を行うと、常時更新されます。

ただし、システム設定で、フォルダ登録を変更した場合には、再度 SOLIDWORKS 参照関係の再取得 を実行する必要があります。

・ コピー - 貼り付け

SOLIDWORKS ファイルのコピーを行うと、コピーしたファイルの参照関係を取得します。SOLIDWORKS ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。

・ 切り取り - 貼り付け

SOLIDWORKS ファイルの移動を行うと、移動ファイルを参照しているファイルがあれば、参照パスを更新して参照関係を維持します。

SOLIDWORKS ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。

・ 名前の変更

SOLIDWORKS ファイルの名前の変更を行うと、変更ファイルを参照しているファイルがあれば、参照パスを更新して参照関係を維持します。

SOLIDWORKS ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。

・ SOLIDWORKS ファイルの「保存」

ファイル検索のみモードの場合に、SOLIDWORKS アプリケーションでフォルダー登録下にファイル保存を行うと、参照関係を取得します。

ただし、SOLIDWORKS アプリケーション側で、「**SearchManager Pro** アドイン」を有効(チェック ON)にする必要があります。(デフォルトで有効)

・ チェックイン

ファイル検索とファイル管理モードの場合に、ファイルのチェックインを行うと、参照関係を取得します。

SOLIDWORKS ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。

■ 注意事項

- ・ この機能は、64bit 版 **SearchManager Pro** のみの機能となります。
- ・ ファイル数が多い場合、参照関係の維持にはしばらく時間がかかる場合があります。
- ・ **SearchManager Pro** で検索・管理していないフォルダーに置いてある SOLIDWORKS ファイルの参照関係は維持されません。
- ・ 参照関係を維持するには、システム設定で、フォルダ登録を行い、SOLIDWORKS 参照関係の再取得 を実行した後、ファイル移動を行う必要があります。

CADSUPER 図面ファイル対応と参照関係の維持

SOLIDWORKS の部品やアセンブリファイルを使用して投影図を作成した場合、CADSUPER 図面ファイルと使用したファイルは参照関係を保持します。

CADSUPER 図面ファイルが参照しているファイルを移動した場合、

SearchManager Pro が自動的に CADSUPER 図面ファイル内部に保存されている参照パスを更新して、参照関係を維持します。

■ 対応している CADSUPER バージョン

CADSUPER FX II Ver4.16 ~ CADSUPER 2016 で保存された図面ファイルに対応しています。

■ 参照先ファイルと連携が可能なコマンド一覧

- ・ 最新を取得
選択した CADSUPER 図面ファイルと参照ファイルの最新を取得します。
- ・ チェックアウト
選択した CADSUPER 図面ファイルと参照ファイルをチェックアウトします。
- ・ チェックイン
チェックアウトされた CADSUPER 図面と参照ファイルをチェックインします。
- ・ チェックアウトの取り消し
チェックアウトされた CADSUPER 図面と参照ファイルに対してチェックアウトの取り消しを実行します。

■ 機能の説明

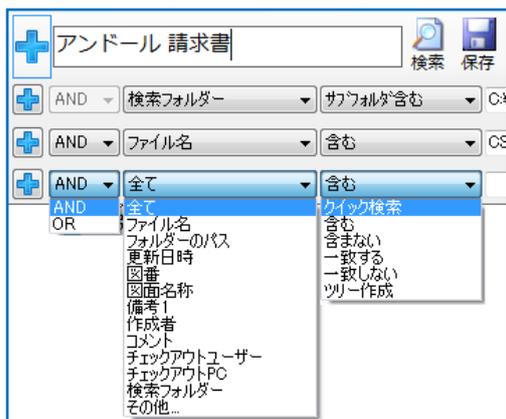
- ・ コピー — 貼り付け
CADSUPER 図面ファイルのコピーを行うと、コピーした CADSUPER 図面ファイルの参照関係を取得します。
CADSUPER 図面ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。
- ・ 切り取り — 貼り付け
CADSUPER 図面ファイルの参照先である SOLIDWORKS ファイルの移動を行うと、CADSUPER 図面ファイル内に保持されている参照パスを更新して参照関係を維持します。
CADSUPER 図面ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。
- ・ 名前の変更
CADSUPER 図面ファイルの参照先である SOLIDWORKS ファイルの名前の変更を行うと、CADSUPER 図面ファイル内に保持されている参照パスを更新して参照関係を維持します。
- ・ CADSUPER 図面ファイルの「保存」
CADSUPER アプリケーションで、SOLIDWORKS の部品/アセンブリモデルの投影図を作成し、フォルダ登録下にファイル保存を行うと、参照関係を取得します。
- ・ チェックイン
ファイル検索とファイル管理モードの場合に、ファイルのチェックインを行うと、参照関係を取得します。
CADSUPER 図面ファイルを含むフォルダーの場合も、同様です。

■ 注意事項

- ・ SearchManager Pro で検索・管理していないフォルダーに置いてある CADSUPER 図面ファイルの参照関係は維持されません。
- ・ この機能は、64bit 版 SearchManager Pro のみの機能となります。

ファイル検索

検索ツールバーに検索キーワードを入力することで、ファイルを検索することができます。



■ ファイルの検索

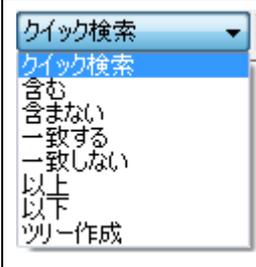
- ① 検索ツールバーに検索キーワード入力します。
また、複数の検索キーワード間に空白(スペース)を入れることで、AND 検索を行います。
- ② Enter キーを押すか、または、[検索]ボタンをクリックすると、検索キーワードに一致するファイルをリスト表示します。

■ 詳細検索

+ ... 詳細検索パネルの表示・非表示を切り替えます。

検索ツールバー直下に表示される詳細検索パネルにて、詳細な検索条件を設定することができます。

	新しい検索条件を追加します。
	AND 検索、OR 検索を切り替えます。
	<p>検索する属性(プロパティ)を選択します。</p> <p>ただし、ファイル管理プロパティ(チェックアウト PC ・ チェックアウトユーザー・コメント)と、ファイルプロパティ(ファイル名・更新日付など)を組み合わせることはできません。</p>

 <p>クイック検索 クイック検索 含む 含まない 一致する 一致しない 以上 以下 ツリー作成</p>	<p>検索条件を選択します。</p>
	<p>検索条件を削除します。</p>

■ 検索した値でツリーを作成する

検索する属性を指定すると、検索条件のコンボボックスで「ツリー作成」が選択可能になります。

「ツリー作成」を選択して検索を実行すると、検索ツリーに表示します。

ハイフンやコンマなどの任意の文字で属性の値を区切っている場合、この文字をシステム設定で登録すると、区切り文字で値を分割してツリーを作成することが可能です。

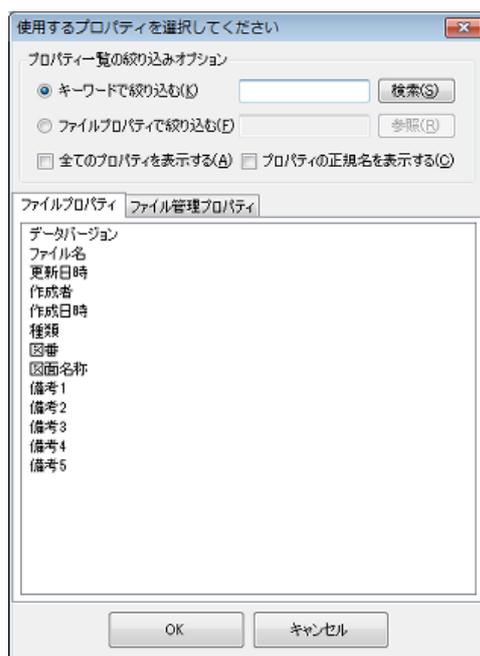


■ 検索条件の初期設定

ユーザー設定で、デフォルトの検索結果をツリー表示にすることができます。

62 ページの[ユーザー設定]をご参照ください。

■ 属性(プロパティの設定)



検索条件の属性(プロパティ)項目でその他を選択するとダイアログが開き、コンボボックスに表示されていない属性を選ぶことができます。

検索条件の属性は、ファイルプロパティとファイル管理プロパティから選択することができます。

・キーワードで絞り込む

入力したキーワードに関連がある属性(プロパティ)を検索することができます。

検索結果は、下部の各プロパティタブ上に表示されます。

・ファイルプロパティで絞り込む

ファイルを指定して使用できるプロパティのみを表示します。

・全てのプロパティを表示する

設定できる全てのプロパティを下部のプロパティタブ上に表示します。

・プロパティの正規名を表示する

属性(プロパティ)の正規名を表示します。

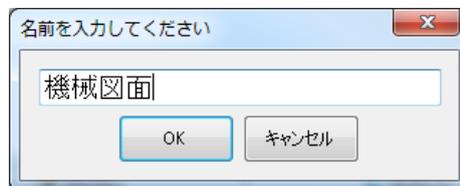
■ 任意の文字を含んだキーワード検索

検索条件が「クイック検索」、または「含む」「含まない」を選択している場合、検索キーワードに * または、? を用いると任意の文字を含んだキーワードを検索することが可能です。

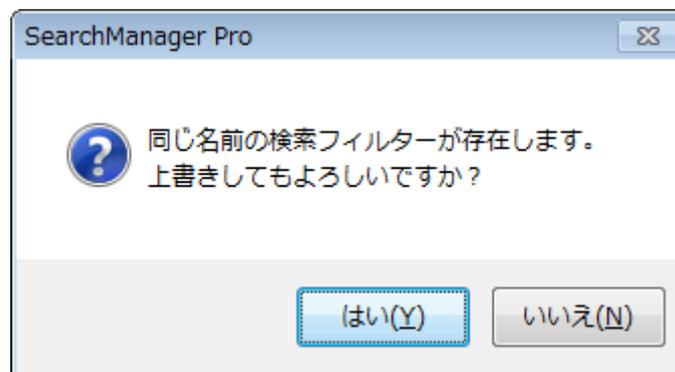
- * ... 0 個以上の任意の文字を含んだキーワードを検索することができます。
- ? ... 任意の1文字を含んだキーワードを検索することができます。

■ 検索条件の保存

- ① 検索ツールバーに検索キーワード入力します。
また、詳細な検索を行う場合は、検索ツールバー直下に表示される詳細検索パネルにて、検索条件を設定します。
- ② [保存]ボタンをクリックし、検索条件の名前を指定すると、現在の検索条件を検索ツリーに保存することができます。



- ③ 同じ名前のフィルターが存在する場合、以下のダイアログボックスが表示されます。



- ④ 「はい」をクリックすると、既存の同名フィルターに上書き保存されます。

■ 検索条件の編集

- ① 保存したフィルターを選択し、[編集]ボタンをクリックします。
選択したフィルターの検索条件が検索ツールバーに表示され、検索条件の変更ができます。
- ② 検索条件の変更後、[編集]ボタンをクリックします。
変更がある場合、ダイアログが表示されます。
- ③ [はい]をクリックすると、変更した検索条件が上書きされます。
[いいえ]をクリックすると、変更は取り消しになります。

■ 注意事項

- ・ インデックスの作成が完了していない場合、検索結果が正しくない場合があります。
- ・ ネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブの場合は、ファイルサーバー側に検索用のインデックスを作成しておく必要があります。
- ・ 検索ツールバー、および、クイック検索では、空白文字のみの検索を行うことはできません。
- ・ 複数の検索フォルダーを検索条件に入れる場合は、OR 検索となります。
- ・ ツリー作成の検索条件は、AND 検索となります。

新しいフォルダーの作成

新しいフォルダーを作成します。

■ コマンドの操作

- ① [フォルダーツリー]を表示します。
- ② 作成先フォルダーを選択後、メニューバーの[ファイル]、メインアイコンメニュー、または右クリックメニューの新しいフォルダーの作成をクリックします。
- ③ 新しいフォルダーの名前を入力して、Enter キーを押します。

■ 注意事項

- ・ 同じ名前のフォルダーを作成することはできません。
- ・ フォルダー名禁止文字 ♪ / : * ? " < > | は、使用できません。

検索フォルダー・作業フォルダー

開いているフォルダー、または、選択しているファイルのフォルダーをエクスプローラーで開きます。システム設定のアプリケーションモードをファイル検索のみに検索している場合は検索フォルダー、ファイル検索とファイル管理の場合は作業フォルダーを開くことができます。

■ コマンドの操作

・ 《ファイル検索のみの場合》

- ① ファイル・フォルダーをクリックして、選択状態にします。
- ② メインアイコンメニューまたは右クリックメニューの[検索フォルダー]をクリックします。
- ③ エクスプローラーが起動して、検索フォルダーが開かれます。

・ 《ファイル検索とファイル管理の場合》

- ① ファイル、フォルダーをクリックして、選択状態にします。
- ② メインアイコンメニューまたは右クリックメニューの[作業フォルダー]をクリックします。
- ③ エクスプローラーが起動して、作業フォルダーが開かれます。

■ 注意事項

- ・ [作業フォルダー]コマンドでは、作業フォルダーに該当するフォルダー階層が存在しない場合、コマンド実行時に作成します。

上へ

現在のフォルダーの親フォルダーへ移動します。の親フォルダーへ移動します。

- ① フォルダーツリーからフォルダーを選択してファイルリストを表示します。
- ② メインメニューアイコンから[上へ]ボタンをクリックします。
- ③ 親フォルダーの階層へ移動し、ファイルリストに表示されます。

■ 注意事項

- ・ フォルダーツリーを選択した場合のみ、有効です。フィルターまたは検索ツリーでは移動できません。
- ・ 登録した検索フォルダーより上の階層は移動できません。

開く

ファイル拡張子に関連付けられたアプリケーションでファイルを直接開きます。
システム設定のアプリケーションモードを[ファイル検索のみ]に指定した場合のみ、コマンドを実行できます。

■ コマンドの操作

- ① 編集するファイルを選択します。
- ② 右クリックメニューを表示して、[開く]をクリックします。
- ③ 関連付けられたアプリケーションでファイルを検索フォルダーのファイルを開きます。

■ 注意事項

- ・ ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合アプリケーションは起動しません。
- ・ システム設定のアプリケーションモードを[ファイル検索]に指定した場合のみ、コマンドを実行できます。

直接編集

ファイル拡張子に関連付けられたアプリケーションでファイルを直接開きます。

■ コマンドの操作

- ① 編集するファイルを選択します。

- ② 右クリックメニューを表示して、[直接編集]をクリックします。
- ③ 関連付けられたアプリケーションでファイルを検索フォルダーのファイルを開きます。作業フォルダーにはコピーされません。

■ 注意事項

- ・ ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合アプリケーションは起動しません。
- ・ 本コマンドで、チェックアウトされているファイルを編集することはできません。
- ・ ファイルをダブルクリックした場合の動作は、ユーザー設定で変更することができます。
- ・ チェックアウトされていないファイルのみ実行できます。
- ・ システム設定のアプリケーションモードを[ファイル検索とファイル管理]に指定した場合のみ、コマンドを実行できます。

最新を取得 / 最新を取得して表示

[最新を取得]は、検索フォルダーにあるファイルを実作業フォルダーにコピーします。

[最新を取得して表示]は作業フォルダーにコピーしたファイルをファイル拡張子に関連付けられたアプリケーションで、読み取り専用ファイルとして開きます。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、または、フォルダーを選択します。
- ② メニューバーの[ファイル]、メインアイコンメニュー、または右クリックメニューから、[最新を取得]をクリックします。最新を取得後に、アプリケーションで表示する場合は、右クリックメニューを表示し[最新を取得して表示]をクリックします。
- ③ 最新の取得ダイアログにて、[OK]ボタンをクリックします。



■ 機能の説明

- ・ **参照ファイルも取得する**
SOLIDWORKS ファイルの構成部品や外部参照しているファイルも取得します。
- ・ **連携ファイルも取得する**
システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルも取得します。詳細は、システム設定をご参照ください。
- ・ **書き込み可能なファイルとして取得する**
チェックを ON にすると、作業フォルダーに書き込み可能なファイルとしてコピーします。
- ・ **今後、このダイアログボックスを表示しない**
以降、最新の取得ダイアログを表示しなくなります。
再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ 注意事項

- ・ [最新を取得]で取得すると、作業フォルダーのファイルは、デフォルトで読み取り専用となります。
- ・ [最新を取得して表示]は、ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合、アプリケーションは起動しません。
- ・ 通常、「最新の取得」は、ファイル参照のために使用します。
ファイルを編集するには、「編集」コマンド、または、「チェックアウト」コマンドを使用します。

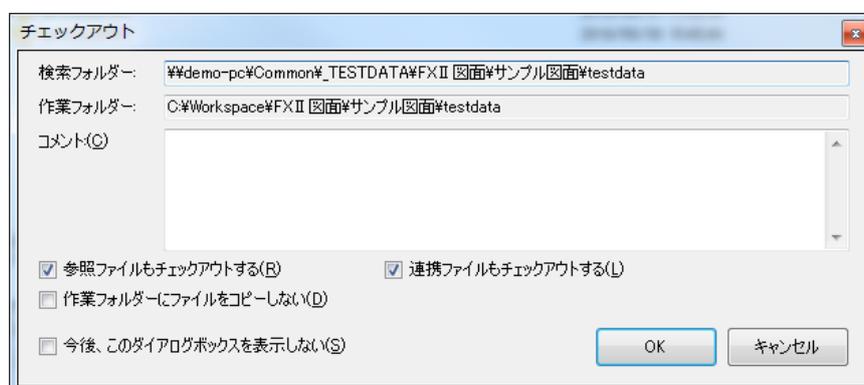
チェックアウト / チェックアウト編集

[チェックアウト]は、検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーし、他ユーザーが編集できないように排他制御を行います。

[チェックアウト編集]はチェックアウトしたファイルに関連付けられたアプリケーションでファイルを開きます。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、または、フォルダーを選択します。
- ② 右クリックメニューを表示し、[チェックアウト]をクリックします。
チェックアウト後に、アプリケーションで表示する場合は、[チェックアウト編集]をクリックします。
- ③ チェックアウトダイアログにて、チェックアウトした理由などのコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。



■ 機能の説明

- ・ **参照ファイルもチェックアウトする**
SOLIDWORKS ファイルの構成部品や外部参照しているファイルもチェックアウトします。
- ・ **連携ファイルもチェックアウトする**
システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルもチェックアウトします。
詳細は、システム設定をご参照ください。
- ・ **作業フォルダーにファイルをコピーしない**
既に作業フォルダーに編集済みファイルが存在する場合などで、ファイル転送を行わずチェック

アウトのみ行いたいときにチェックを入れます。

- ・ 今後、このダイアログボックスを表示しない以降、チェックアウトダイアログを表示しなくなります。再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ 注意事項

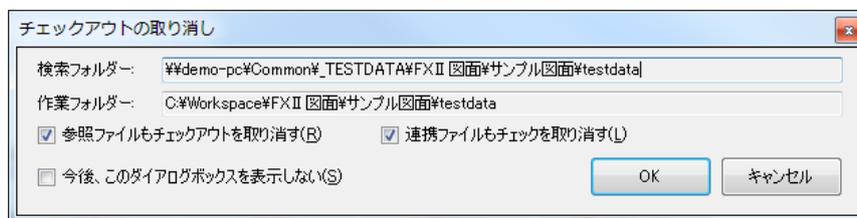
- ・ [チェックアウト]を実行できるのは、チェックアウトされていないファイルのみです。また、読み取り専用ファイルをチェックアウトすることはできません。
- ・ [チェックアウト]で取得すると、作業フォルダーのファイルは、書き込み可能なファイルとなります。
- ・ [チェックアウト編集]コマンドは、ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合、アプリケーションは起動しません。
- ・ [チェックアウト]を実行すると、他のユーザーはそのファイルをチェックアウトすることができなくなります。
- ・ 作業フォルダーに、書き込み可能なファイル、または、更新日付が新しいファイルが存在する場合、上書き確認メッセージが表示されます。
- ・ [チェックアウト]を実行時に、検索フォルダーのファイルを読み取り専用にする場合、システム設定で変更することができます。

チェックアウトの取り消し

チェックアウトしたファイルのチェックアウト状態を解除し、作業ファイルの編集を取り消します。

■ コマンドの操作

- ① チェックアウトしたファイル、または、チェックアウトしたファイルを含むフォルダーを選択します。
- ② メニューバーの[ファイル]、メインアイコンメニュー、または右クリックメニューから、[チェックアウトの取り消し]をクリックします。
- ③ チェックアウトの取り消しダイアログにて、[OK]ボタンをクリックします。



■ 機能の説明

- ・ 参照ファイルもチェックアウトの取り消しする
SOLIDWORKS ファイルの構成部品や外部参照しているファイルもチェックアウトを取り消します。

- ・ 連携ファイルもチェックアウトの取り消しする
システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルもチェックアウトを取り消します。
詳細は、システム設定をご参照ください。
- ・ 今後、このダイアログボックスを表示しない
以降、チェックアウトの取り消しダイアログを表示しなくなります。
再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ 注意事項

- ・ [チェックアウトの取り消し]を実行できるのは、自分がチェックアウトしたファイルのみです。
- ・ [チェックアウトの取り消し]を実行しても、作業フォルダーのファイルは変更しません。
- ・ [チェックアウトの取り消し]を実行すると、他のユーザーはそのファイルをチェックアウトできるようになります

切り取り

選択したファイル・フォルダーを切り取ります。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、または、フォルダーを選択します。
- ② 右クリックメニューを表示し、[切り取り]をクリックします。
- ③ 貼り付け先フォルダーを表示して、右クリックメニューを表示し、[貼り付け]をクリックします。

■ 注意事項

- ・ 貼り付け先に同じ名前のファイルが存在する場合、上書き確認のメッセージボックスが表示されません。
- ・ 貼り付け先に同じ名前の読み取り専用ファイルが存在する場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- ・ 貼り付け先の同じ名前のファイルを他のアプリケーションが開いている場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- ・ 64bit 版 **SearchManager Pro** の場合、SOLIDWORKS ファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。
- ・ 投影図を作成した CADSUPER 図面の場合、参照パスを更新して参照関係を維持します。

コピー

選択したファイル・フォルダーをコピーします。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、または、フォルダーを選択します。
- ② 右クリックメニューを表示し、[コピー]をクリックします。

③ 貼り付け先フォルダーを表示して、右クリックメニューを表示し、[貼り付け]をクリックします。

■ 注意事項

- ・ 貼り付け先に同じ名前のファイルが存在する場合、上書き確認のメッセージボックスが表示されません。
- ・ 貼り付け先に同じ名前の読み取り専用ファイルが存在する場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- ・ 貼り付け先の同じ名前のファイルを他のアプリケーションが開いている場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- ・ 64bit 版 **SearchManager Pro** の場合、SOLIDWORKS ファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。
- ・ 投影図を作成した CADSUPER 図面の場合、参照パスを更新して参照関係を維持します。

貼り付け

切り取り、コピーしたファイル・フォルダーを現在のフォルダーに貼り付けます。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、または、フォルダーを選択します。
- ② 右クリックメニューを表示し、[コピー]、または、[切り取り]をクリックします。
- ③ 貼り付け先フォルダーを表示して、右クリックメニューを表示し、[貼り付け]をクリックします。

■ 注意事項

- ・ 貼り付け先に同じ名前のファイルが存在する場合、上書き確認のメッセージボックスが表示されません。
- ・ 貼り付け先に同じ名前の読み取り専用ファイルが存在する場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- ・ 貼り付け先の同じ名前のファイルを他のアプリケーションが開いている場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- ・ 64bit 版 **SearchManager Pro** の場合、SOLIDWORKS ファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。
- ・ 投影図を作成した CADSUPER 図面の場合、参照パスを更新して参照関係を維持します。

名前の変更

選択アイテムの名前を変更します。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、フォルダー、または、検索フィルターをクリックして、選択状態にします。
- ② 右クリックメニューを表示し、[名前の変更]をクリックします。
- ③ 名前を入力して、選択アイテムの名前を変更します。

■ 注意事項

- ・ 同じフォルダーに既に同名のファイルが有る場合は、名前を変更することはできません。
- ・ フォルダー名、ファイル名には、禁止文字 ¥ / : * ? " < > | は、使用できません。
- ・ チェックアウトされているファイルの名前を変更することはできません。
- ・ 読み取り専用ファイルの名前を変更することはできません。
- ・ 選択アイテムがファイルの場合、同じフォルダーに既に同名のファイルがある場合は、名前を変更することはできません。
- ・ 選択アイテムがフォルダーの場合、親フォルダーに既に同名のフォルダーが有る場合は、名前を変更することはできません。
- ・ 選択アイテムがフィルターの場合、既に同名のフィルターが存在する場合は、名前を変更することはできません。
- ・ 64bit 版 **SearchManager Pro** の場合、SOLIDWORKS ファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。
- ・ 投影図を作成した CADSUPER 図面の場合、参照パスを更新して参照関係を維持します。

削除

選択アイテムを削除します。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、フォルダー、または、検索条件をクリックして、選択状態にします。
- ② 右クリックメニューを表示し、[削除]をクリックします。
- ③ 確認メッセージで、「はい」をクリックすると、選択アイテムが削除されます。

■ 注意事項

- ・ 読み取り専用ファイルを削除することはできません。
- ・ チェックアウトされているファイルを削除することはできません。
- ・ 削除したファイル、フォルダー、または、検索条件は、復元することができません。
ご注意ください。

プロパティ

フォルダー・ファイルのプロパティを表示します。

■ コマンドの操作

- ① ファイル、または、フォルダーをクリックして、選択状態にします。
- ② 右クリックメニューを表示し、[プロパティ]をクリックします。
ファイルの場合、プロパティタブがアクティブとなり、ファイルプロパティ、または、カスタムプロパティの一覧が表示されます。
- ③ フォルダーの場合、プロパティダイアログが表示されます。

■ 機能の説明

- ・ **ファイルプロパティ**
選択ファイルのファイルプロパティの一覧を表示します。
- ・ **カスタムプロパティ**
選択ファイルが Office 系ファイルの場合は、カスタムプロパティ(ユーザー設定プロパティ)の一覧を表示します。
SOLIDWORKS ファイルの場合は、ユーザー定義プロパティを表示します。
また、プロパティの値を変更することができます。
- ・ **プロパティの変更を適用する**
Office 系ファイルや SOLIDWORKS ファイルの場合に、カスタムプロパティの値を編集すると有効になります。
ボタンをクリックすると、カスタム設定の値を保存されます。
- ・ **プロパティダイアログの表示**
ボタンをクリックすると、ファイルのプロパティダイアログを表示します。
- ・ **リスト**
プロパティの名前、値、種類を表示します。

■ 注意事項

- ・ ファイルをアプリケーションが開いている場合、カスタムプロパティは表示されません。

表示タイプ

ファイルリストのサムネイル表示・詳細表示を切り替えます。

■ コマンドの操作

- ① フォルダーの選択、または、検索を実行して、ファイルリストを表示します。
- ② [表示タイプ]の内、「特大アイコン」「大アイコン」「中アイコン」「小アイコン」「リスト」「詳細」のいずれかを選択します。

■ 注意事項

- ・ メインリストが「特大アイコン」「大アイコン」「中アイコン」の場合、サブリストは「詳細」表示となります。

- ・ 「特大アイコン」「大アイコン」「中アイコン」で表示できるファイル数は、ユーザー設定で設定できます。検索結果が設定したファイル数より多い場合、「詳細」表示でリスト表示されます。

ファイルリストの更新

ファイルリストを更新します。

■ コマンドの操作

- ① フォルダーの選択、または、検索を実行して、ファイルリストを表示します。
- ② [リストの更新]、または、右クリックメニューから[ファイルリストの更新]をクリックします。

■ 注意事項

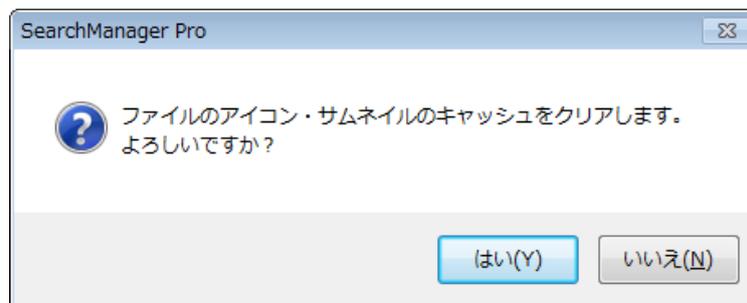
- ・ [ファイルリストの更新]コマンドは、ファイルの更新日付が新しくなっている場合にのみ、リスト表示が更新されます。ただし、ファイルを選択してこのコマンドを実行すると、選択ファイルのサムネイル画像を強制的に再取得します。
- ・ アイコン・サムネイルを強制更新したい場合は、サムネイルキャッシュのクリアを実行してください。

サムネイルキャッシュのクリア

アイコン・サムネイルのキャッシュデータを削除します。

■ コマンドの操作

- ① [表示]-[キャッシュのクリア]をクリックします。
- ② 「はい」をクリックします。



- ③ ファイルのアイコンとサムネイルのキャッシュが削除され、ファイルリストが再読み込みされます。

■ 注意事項

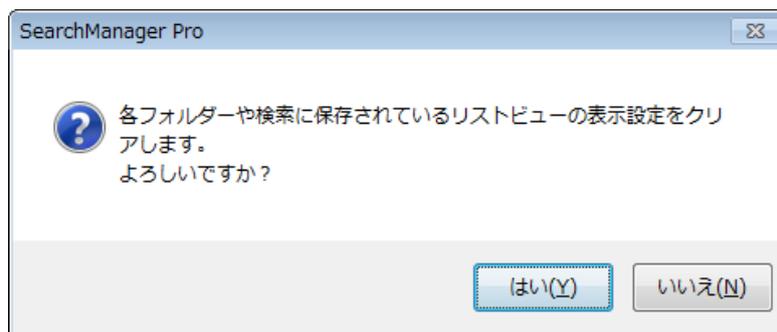
- ・ サムネイルが更新されない場合や、ファイルアイコンが正しくない場合に、このコマンドを使用します。
- ・ キャッシュをクリアすると、ファイルの表示に時間がかかる場合があります。

リストビュー設定のクリア

各フォルダー・検索に保存されているリストビューの表示設定をクリアします。

■ コマンドの操作

- ① [表示]-[リストビュー設定のクリア]をクリックします。
- ② 「はい」をクリックします。



- ③ 各フォルダー・検索に保存されているリストビューの表示設定がクリアされ、ファイルリストが再読み込みされます。

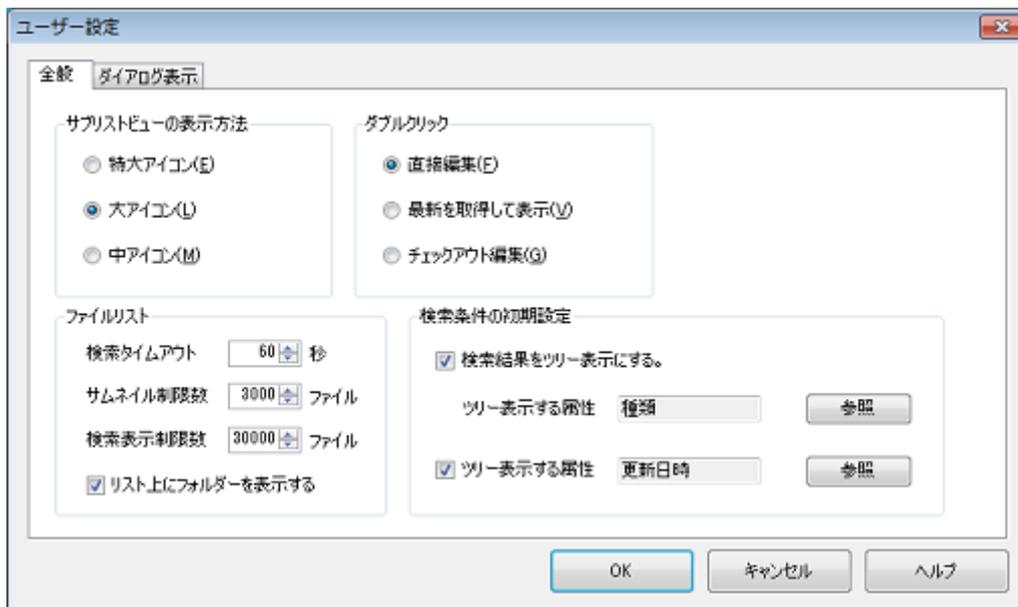
■ 注意事項

- ・ リストビューの表示設定をクリアしても、列設定はクリアされません。
- ・ リストビューの表示設定をクリアすると、デフォルトの列設定を使用してリスト表示します。

ユーザー設定

ユーザー固有の設定を編集します。

■ 全般



・ サブリストビューの表示方法

サブリストビューのサムネイル表示を[特大アイコン]、[大アイコン]、[中アイコン]から選択します。

・ ダブルクリックの動作

ファイルをダブルクリックした時の動作を[直接編集]、[最新を取得して表示]、[チェックアウト編集]から選択します。

《ファイルリスト》

・ 検索タイムアウト

検索時のタイムアウト時間を設定します。30~3600 秒までの値を設定することができます。

・ サムネイル制限数

サムネイル表示可能なファイル数を設定します。最大 5000 件まで設定することができます。

・ リスト表示制限数

リスト表示可能なファイル数を設定します。最大 50000 件まで設定することができます。

・ リスト上にフォルダーを表示する

ファイルリストにフォルダーを表示します。

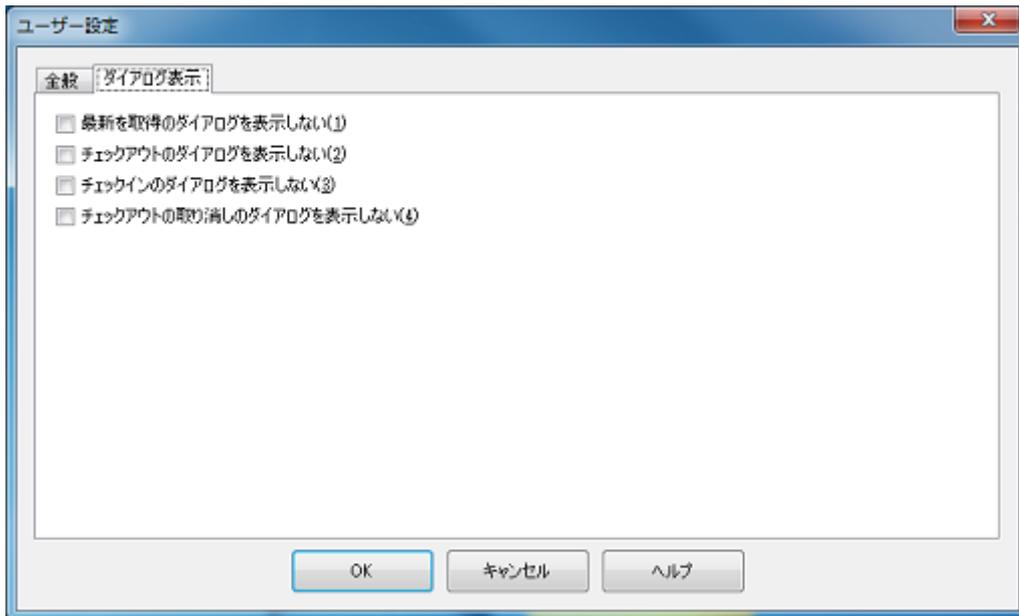
《検索条件の初期設定》

・ 検索結果をツリー表示にする

チェックを入れてツリー表示する属性を選択すると、デフォルトで検索結果をツリーで表示できます。属性は参照ボタンをクリックして選択します。

また、二種類の属性を選択ツリー表示する場合は、ツリー表示する属性にチェックを入れ、同様に二番目の属性を選択します。

■ ダイアログ表示



・ 最新を取得のダイアログを表示しない

[最新を取得]ダイアログを表示せずに、最新の取得コマンドを使用する場合にチェックを入れます。

・ チェックアウトのダイアログを表示しない

チェックアウトダイアログを表示せずに、チェックアウトコマンドを使用する場合にチェックを入れます。

・ チェックインのダイアログを表示しない

チェックインダイアログを表示せずに、チェックインコマンドを使用する場合にチェックを入れます。

・ チェックアウトの取り消しのダイアログを表示しない

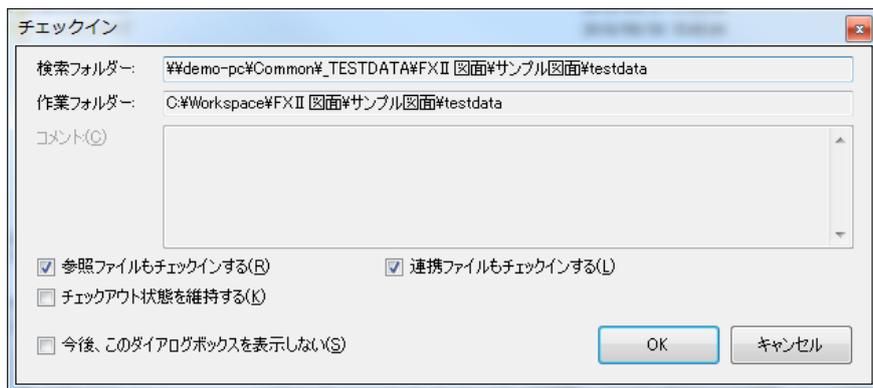
チェックアウトの取り消しダイアログを表示せずに、チェックアウトの取り消しコマンドを使用する場合にチェックを入れます。

チェックイン

チェックアウトしたファイルを検索フォルダーにコピーし、検索ファイルを更新します。

■ コマンドの操作

- ① チェックアウトしたファイル、または、チェックアウトしたファイルを含むフォルダーを選択します。
- ② メニューバーの[ファイル]、メインアイコンメニュー、または右クリックメニューから[チェックイン]をクリックします。チェックインダイアログにて、[OK]ボタンをクリックします。



■ 機能の説明

・ 参照ファイルもチェックインする

SOLIDWORKS ファイルの構成部品や外部参照しているファイルもチェックインします。

・ 連携ファイルもチェックインする

システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルもチェックインします。

詳細は、システム設定をご参照ください。

・ チェックアウト状態を維持する

チェックインした後も引き続きファイルの編集作業を行えるように、チェックアウトしたままにします。

・ 今後、このダイアログボックスを表示しない

以降、チェックインダイアログを表示しなくなります。

再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ 注意事項

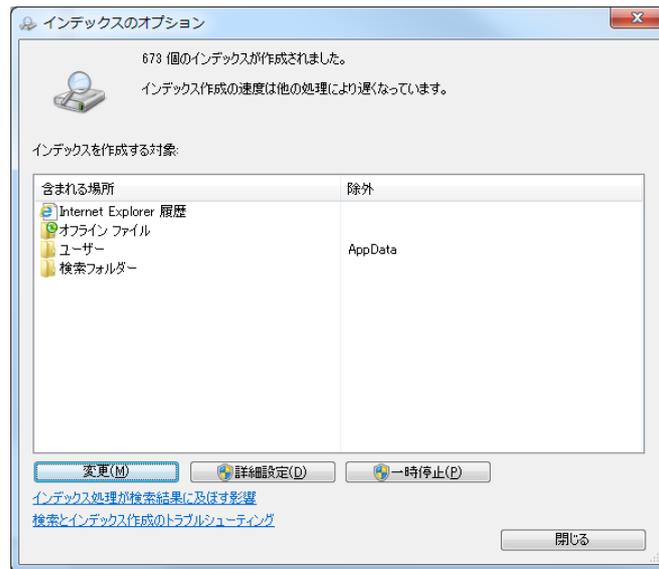
- ・ [チェックイン]を実行できるのは、自分がチェックアウトしたファイルのみです。
- ・ [チェックイン]で取得すると、作業フォルダーのファイルは、読み込み専用ファイルとなります。
- ・ [チェックイン]を実行すると、他のユーザーはそのファイルをチェックアウトできるようになります。
- ・ 検索フォルダーに、更新日付が新しいファイルが存在する場合、上書き確認メッセージが表示されません。

インデックスのオプション

Windows サーチの インデックスのオプション ダイアログを表示します。

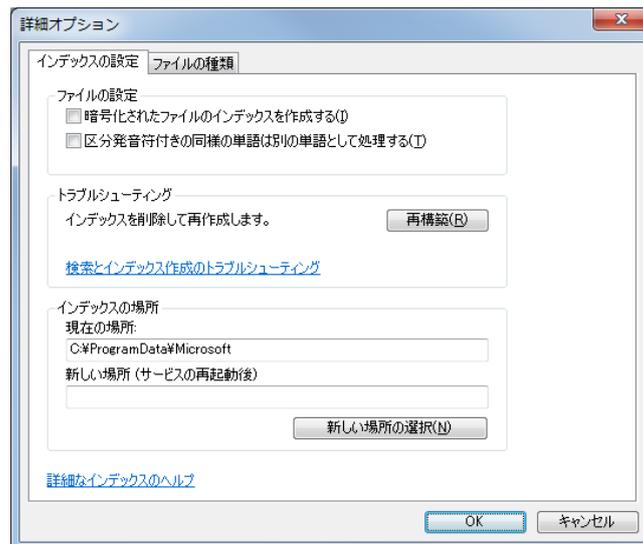
CADSUPER 図面を検索するためには、「CADSUPER シェル拡張」がインストールされている必要があります。

「CADSUPER シェル拡張」がインストールされていない場合は、インデックスを作成する前にインストールしてください。



インデックスの作成方法については、8 ページの[環境構築の手順]をご参照ください。

■ 詳細設定



- ・ [再構築]ボタン
SearchManager Pro が正常な検索結果を表示しない場合、インデックスの作成が正常に行われていない可能性があります。

[再構築]ボタンを押すと、インデックスを再作成します。
ただし、インデックスの作成にはしばらく時間がかかることがあります。

- ・ **インデックスの場所**
インデックスデータを格納する場所を変更することができます。

■ 注意事項

- ・ ネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブの場合は、ファイルサーバー側に検索用のインデックスを作成しておく必要があります。
- ・ 検索を最適に行うためには、**SearchManager Pro** が参照するフォルダーのみ追加することを推奨します。
- ・ コンピューター全体やシステム ファイルの場所 (Program Files フォルダーなど) をインデックスに含めると、インデックスの肥大化や、検索の速度が遅くなる場合があります。
- ・ 検索を最適に行うためには、**SearchManager Pro** が参照するフォルダーのみ追加することを推奨します。
コンピューター全体やシステム ファイルの場所 (Program Files フォルダーなど) をインデックスに含めると、インデックスの肥大化や、検索の速度が遅くなる場合があります。

システムの設定

SearchManager Pro 全体の設定を行います。

システム設定は、複数のユーザーで共有することが可能です。

■ 全般

・ システム設定ファイルの保存先

[参照]ボタンをクリックして、既存のシステム設定ファイルを選択するか、別の場所に新規保存することができます。

これにより、システム設定ファイルをネットワーク共有フォルダー上に配置することで、複数のユーザーでシステム設定を共有することができます。

■ ファイル管理

・ ファイル検索のみ

Windows サーチを使用したファイル検索機能のみを使用できます。

ファイル管理機能(チェックイン・チェックアウト)コマンドは表示されません。

検索先ファイルを直接編集するモードです。

(フォルダ登録で作業フォルダーを登録する必要はありません)

・ ファイル検索とファイル管理

Windows サーチを使用したファイル検索とファイル管理機能(チェックイン・チェックアウト)を使用できます。

検索先ファイルをローカルの作業フォルダーにダウンロードして編集するモードです。

(フォルダ登録で作業フォルダーを登録する必要があります)

■ フォルダ登録

・ 追加・編集・削除

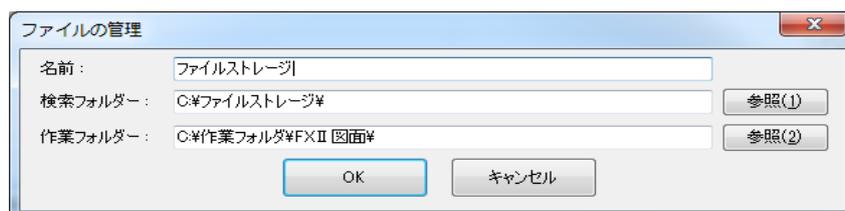
ファイル管理するフォルダーの「名前」「検索フォルダー」「作業フォルダー」を登録・編集・削除します。管理するフォルダーは一覧に表示されます。

《追加》

① [追加]ボタンをクリックしてダイアログを表示します。

② 名前、検索フォルダー、作業フォルダーを入力します。

[参照ボタン]をクリックすると、フォルダーの参照ダイアログが表示されフォルダーを選択することができます。作業フォルダーはアプリケーションモードをファイル検索とファイル管理のみ登録することができます。



③ [OK]ボタンを押して閉じます。一覧に追加されます。

《編集》

一覧から編集した項目を選択して、[編集]ボタンをクリックします。
名前・検索フォルダー・作業フォルダーを編集できます。

《削除》

一覧から項目を選択して[削除]ボタンをクリックすると、選択した項目が削除されます。
削除した項目は、フォルダー管理しません。

・ インデックス

[インデックスのオプション]ダイアログを表示します。
検索フォルダーを Windows サーチに登録してインデックスを作成します。

・ ▲・▼

登録フォルダーの順番を変更することで、フォルダーツリー表示の順番を変更することができます。

■ フォルダ登録のオプション

・ 日付検索の最小年月日

ファイル日付で検索する際の最小年月日を指定します。小さい値にするとパフォーマンスが低下する場合がありますのでご注意ください。

・ チェックイン時のコメントを表示する

チェックを入れると、チェックインダイアログで入力したコメントが、表示されるようになります。

・ チェックアウト時に読み取り専用にする

チェックを入れると、チェックアウト時に検索フォルダー側のファイルを読み取り専用にすることができます。

・ ファイル操作時に参照ファイルを置き換える

チェックを入れるとファイル操作時に、アセンブリファイルなどの参照元ファイルの参照先ファイルパスを更新し、ファイル同士の参照関係を維持します。

・ 参照ファイルパスの置き換え時に更新日時を変更しない

チェックを入れると、ファイル操作を実行して参照ファイルを置き換える際に、アセンブリファイルの更新日付を変更しません。

■ ツリー分割

任意の文字を登録すると、登録した文字でプロパティの値を分割し、それぞれ分割した値ごとにツリーを同じ階層上で並列に作成することができます。

・ 追加

- ① [追加]ボタンをクリックしてダイアログを表示します。



- ② プロパティ値を分割したい区切り文字を入力します。
- ③ [OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。一覧に追加されます。

- ・ **削除**

一覧から登録した区切り文字を選択して[削除]ボタンをクリックすると一覧から削除されます。

- **拡張子連携**

[最新を取得] [チェックアウト] [チェックイン] などのコマンドの実行時に、処理を実行するファイルと同時に、同じフォルダーに存在する「連携する拡張子」に一致するファイルも処理します。

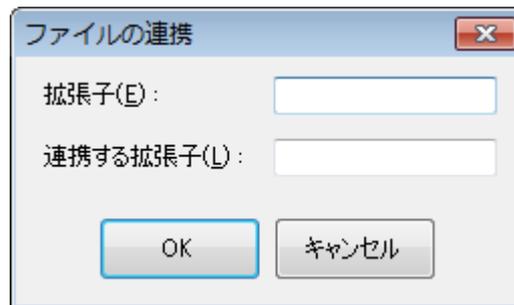
[全体]-[アプリケーション]-[ファイル検索のみ]を設定している場合、登録する必要はありません。

- ・ **拡張子によるファイルの連携**

拡張子によるファイルの連携一覧に拡張子と連携する拡張子を追加・編集・削除できます。

《追加》

- ① [追加]ボタンをクリックしてダイアログを表示します。



- ② 拡張子と連携する拡張子を入力します。
- ③ [OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。一覧に表示されます。

《編集》

一覧から編集する項目を選択し、[編集]ボタンをクリックします。
選択した拡張子・連携する拡張子を編集することができます。

《削除》

一覧から削除したい拡張子・連携する拡張子を選択します。
[削除]ボタンをクリックすると、削除されます。

- **除外ファイル**

SearchManager Pro でファイルの検索・管理から除外するファイルを設定します。

- ・ **表示されないファイルパターン一覧**

SearchManager Pro で表示しないファイルパターンを登録・編集・削除します。

表示されないファイルパターン一覧に登録された文字列に該当するファイルは管理から除外され処理されません。

《追加》

- ① 追加ボタンをクリックします。除外するファイルパターンを入力するダイアログが表示されま

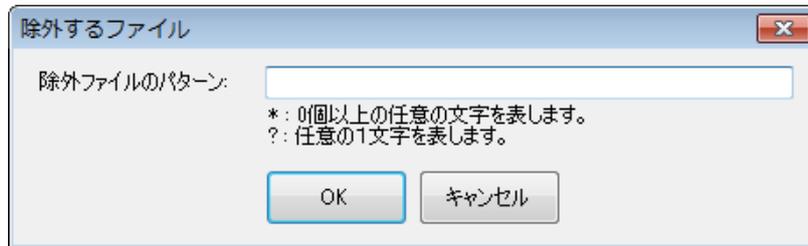
す。

② 除外するファイルのパターンを入力します。

[*]マークは0個以上の文字、[?]マークは任意の1文字を表します。下記は例です。

例：拡張子が dll のファイルを非表示にする場合、*.dll を登録します。

例：text1.doc、text2.doc、… のファイルを非表示にする場合、text?.doc を登録します。



③ [OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。表示しないファイル一覧に追加されます。

《編集》

表示しないファイルパターン一覧を選択して[編集]をクリックします。

登録したファイルパターンを編集できます。

《削除》

表示しないファイルパターン一覧を選択して[削除]をクリックすると、登録したファイルパターンを一覧から削除します。

・ 隠し属性のファイルは、ファイル管理しない

チェックを入れると、隠し属性のファイルは、**SearchManager Pro** で表示・処理なくなります。

・ システムファイルは、管理しない

チェックを入れると、Windows のシステムファイルは、**SearchManager Pro** で表示・処理なくなります。

■ プロパティ定義

・ カスタムプロパティの名前・追加ボタン

Office 系ファイルのカスタムプロパティや、SOLIDWORKS ファイルのユーザー定義プロパティの名前を入力して、追加ボタンを押します。

登録したプロパティは、[ユーザー設定]にて、ファイルリストの列に指定することができます。

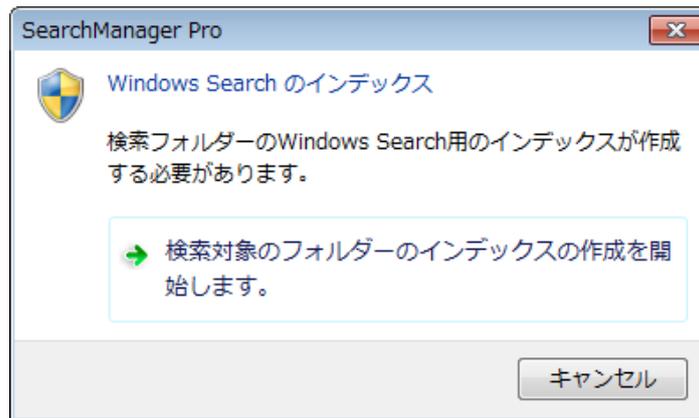
・ カスタムプロパティの定義

登録した Office 系ファイルのカスタムプロパティや、SOLIDWORKS ファイルのユーザー定義プロパティの一覧が表示されます。

■ インデックスの自動作成

システム設定の保存時に、登録した検索フォルダーにインデックスが作成されていない場合はインデックスの自動作成を実行します。ただし、登録した検索フォルダーがネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブの場合は自動作成できません。環境手順のネットワーク共有ファイルのインデックス作成についてご覧ください。

1. ダイアログが表示されます。



2. 「検索対象フォルダーのインデックス作成を開始します。」をクリックします。
3. 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。
4. インデックスの作成が開始されます。
5. インデックスの作成が完了すると、ステータスバーにインデックス作成完了と表示されます。

■ 注意事項

- ・ 検索するフォルダーの数が多い場合、検索のパフォーマンスが低下する場合があります。
- ・ 検索フォルダーに、ネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブを指定した場合は、ファイルサーバー側に検索用のインデックスを作成しておく必要があります。
- ・ フォルダー登録にネットワークドライブを指定した場合でも、**SearchManager Pro** は、UNC パスでファイル検索やファイル管理を行います。

SOLIDWORKS 参照関係の再取得

この機能は、64bit 版 **SearchManager Pro** のみの機能となります。
SOLIDWORKS ファイルの参照関係を取得して、**SearchManager Pro** のデータベースに登録します。

■ コマンドの操作

- ① システム設定で、フォルダー登録を行います。
- ② [オプション]-[SOLIDWORKS 参照関係の再取得]を実行します。

■ 注意事項

- ・ システム設定で、フォルダー登録を変更した場合には、再度 [SOLIDWORKS 参照関係の再取得] を実行する必要があります。
- ・ 参照関係を格納したデータベースは、システム設定ファイルの保存先と同じフォルダーに保存されます。
- ・ 取得した参照関係は、参照関係の維持に使用されます。

ヘルプ

SearchManager Pro のヘルプを表示します。

ライセンス

SearchManager Pro のライセンスを設定することができます。
CADSUPER 保守契約ユーザー向けのライセンス認証(無償)とアクティベーションによるライセンス認証(有償)のどちらかを選択できます。
詳細は、18 ページの「**ライセンスの認証方法**」をご参照ください。

バージョン情報

SearchManager Pro のバージョン情報を表示します。

